

令和4年度 意向調査結果

送付数 799 経営体
 回答数 502 経営体
 回答率 62.83%

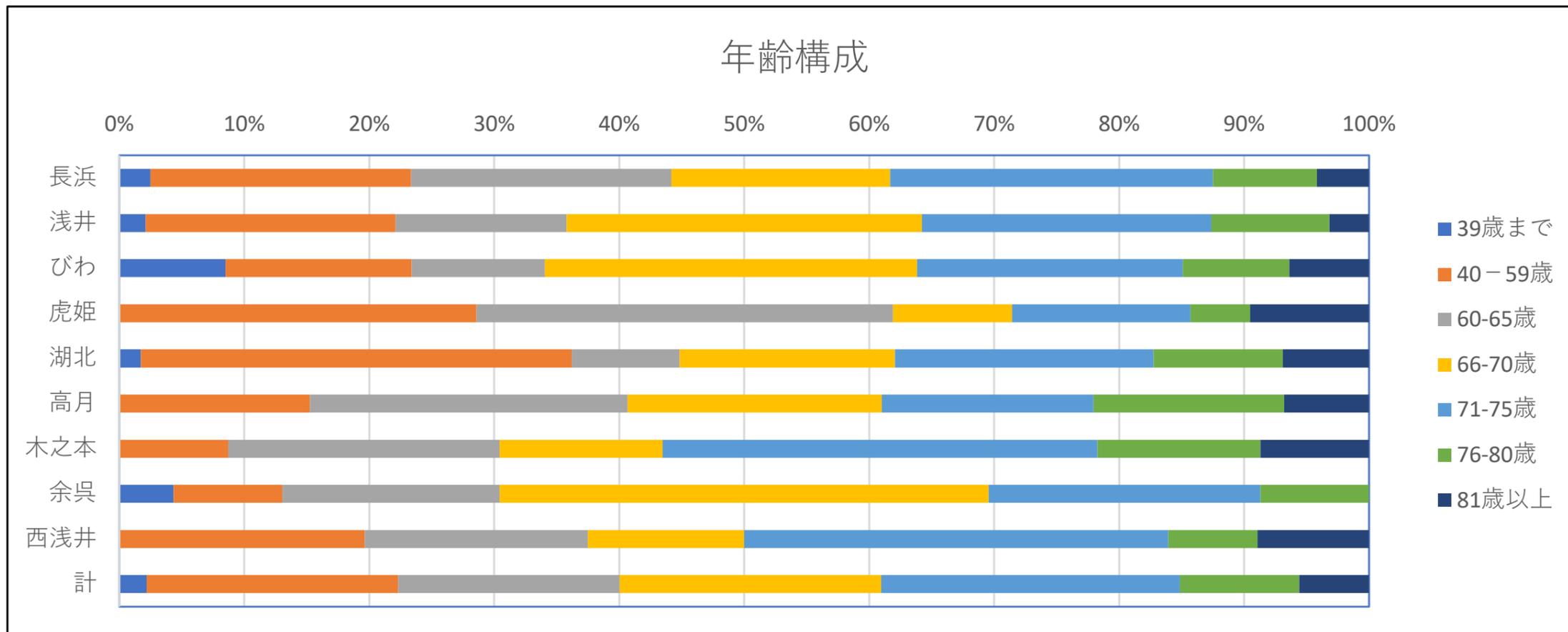
問1-① あなたのお住いの地域は

地区名	
長浜	120
浅井	95
びわ	47
虎姫	21
湖北	58
高月	59
木之本	23
余呉	23
西浅井	56
計	502

問1-② あなたの年齢は

地区名	39歳まで	40-59歳	60-65歳	66-70歳	71-75歳	76-80歳	81歳以上	全体
長浜	3	25	25	21	31	10	5	120
浅井	2	19	13	27	22	9	3	95
びわ	4	7	5	14	10	4	3	47
虎姫	0	6	7	2	3	1	2	21
湖北	1	20	5	10	12	6	4	58
高月		9	15	12	10	9	4	59
木之本		2	5	3	8	3	2	23
余呉	1	2	4	9	5	2		23
西浅井		11	10	7	19	4	5	56
計	11	101	89	105	120	48	28	502

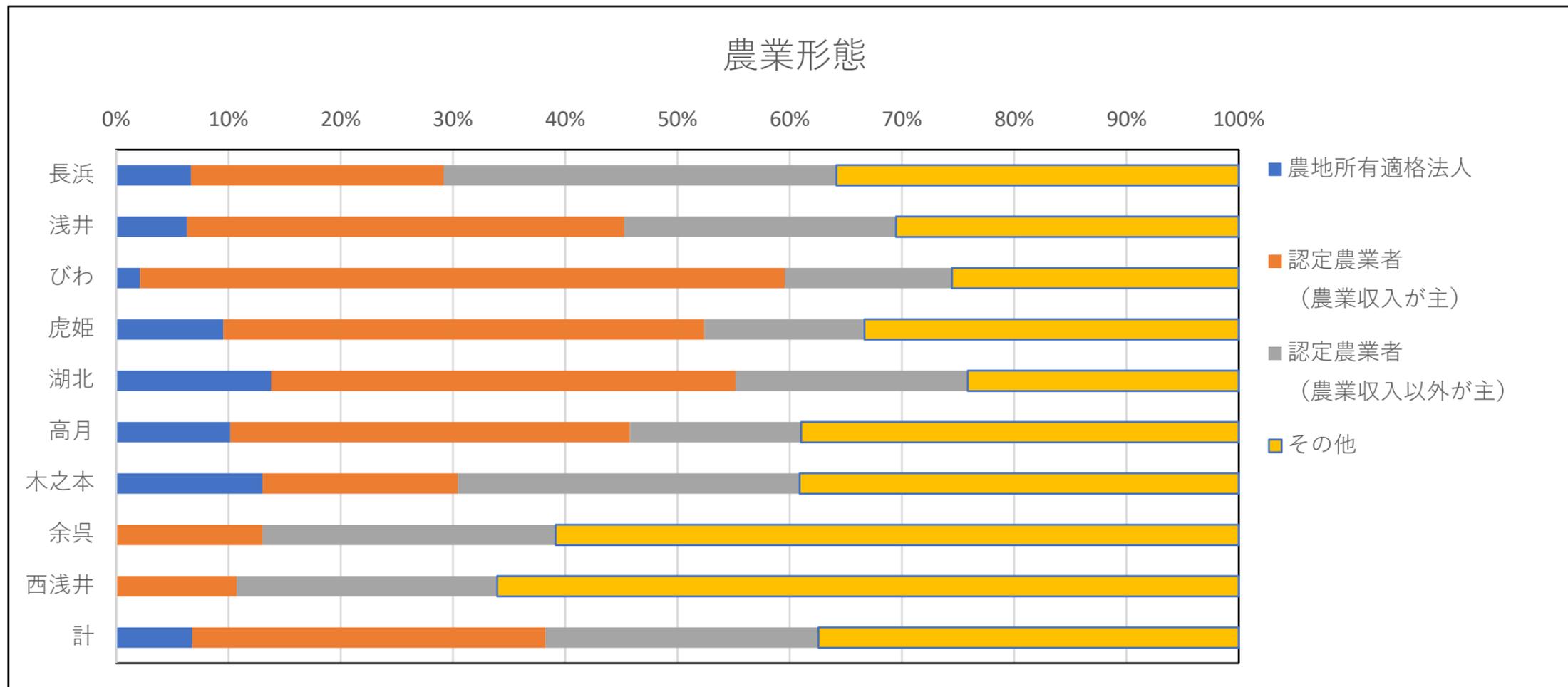
年齢構成



問2 あなたの農業形態は

地区名	
長浜	120
浅井	95
びわ	47
虎姫	21
湖北	58
高月	59
木之本	23
余呉	23
西浅井	56
計	502

地区名	農地所有適格法人	認定農業者 (農業収入が主)	認定農業者 (農業収入以外が主)	その他	全体
長浜	8	27	42	43	120
浅井	6	37	23	29	95
びわ	1	27	7	12	47
虎姫	2	9	3	7	21
湖北	8	24	12	14	58
高月	6	21	9	23	59
木之本	3	4	7	9	23
余呉	0	3	6	14	23
西浅井		6	13	37	56
計	34	158	122	188	502

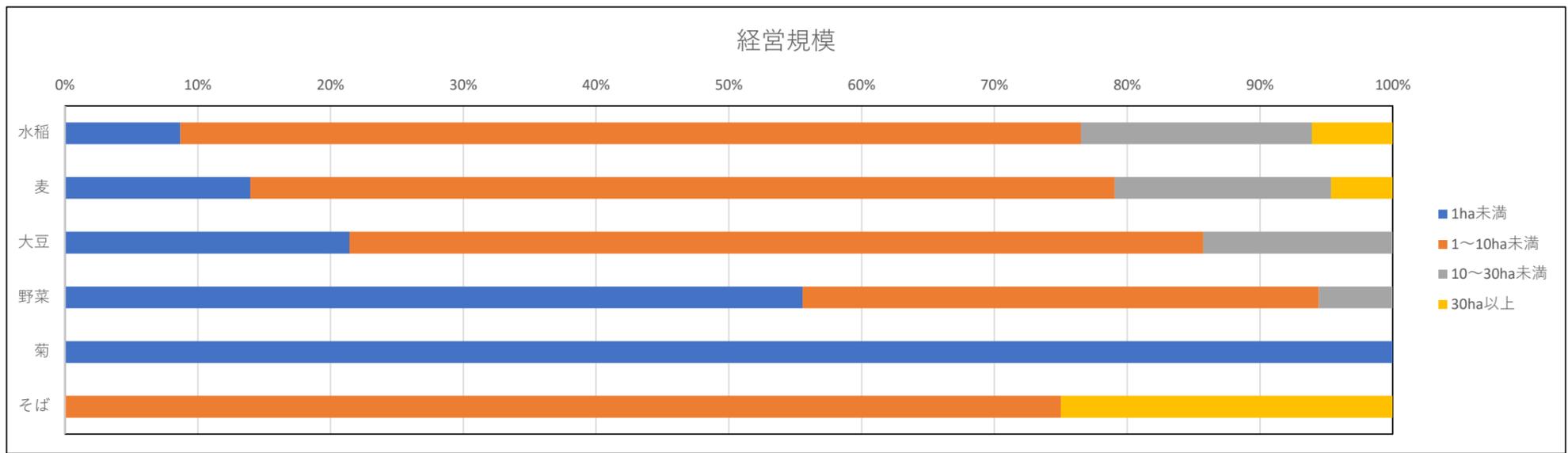


問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 長浜地区

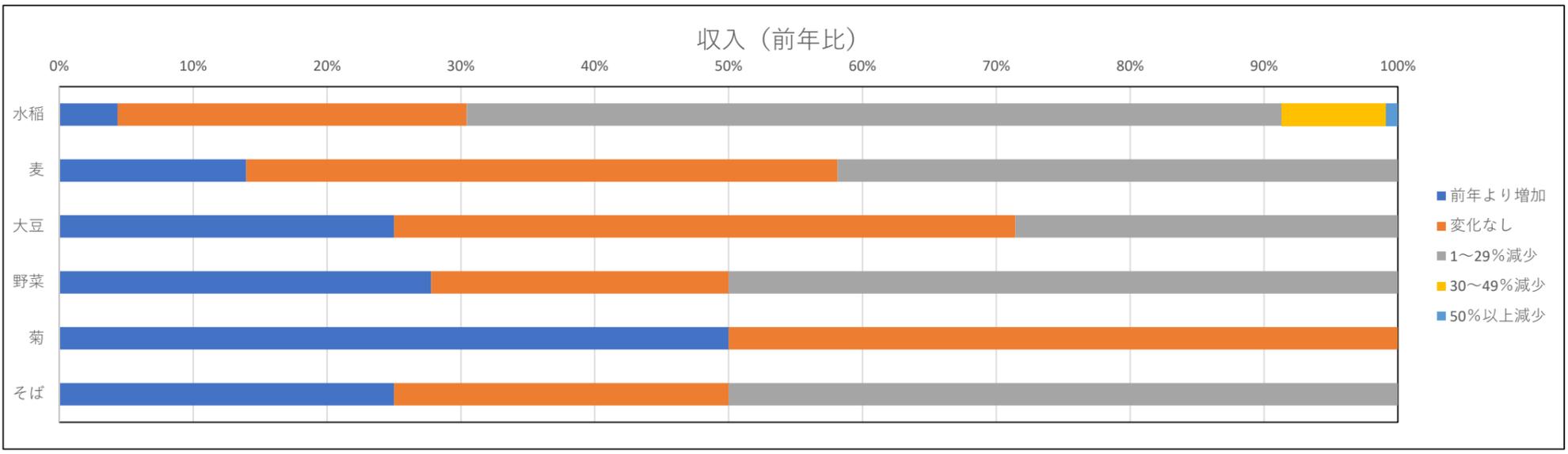
品目	1ha未満	1~10ha未満	10~30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1~29%減少	30~49%減少	50%以上減少	合計	要因(増加、変化なし)
水稻	10	78	20	7	115	5	30	70	9	1	115	面積拡大(水稻、玉ねぎ)
麦	6	28	7	2	43	6	19	18			43	収量の増加(水稻、大豆)
大豆	6	18	4		28	7	13	8			28	作付け面積を増やした(水稻、小菊)
野菜	10	7	1		18	5	4	9			18	大麦に変更した為(麦)
菊	2				2	1	1				2	適期に種が出来た為(大豆)
そば		3		1	4	1	1	2			4	消費者への直接販売で下落分を確保(水稻)
					0						0	水、肥料の管理
					0						0	日々の努力(水稻)
計	34	134	32	10	210	25	68	107	9	1	210	個人売りを行っている為(麦)

特に工夫なし(麦)
1平米の収穫量により(大豆)
移植機導入による経営面積の拡大(菊)

要因(減少)

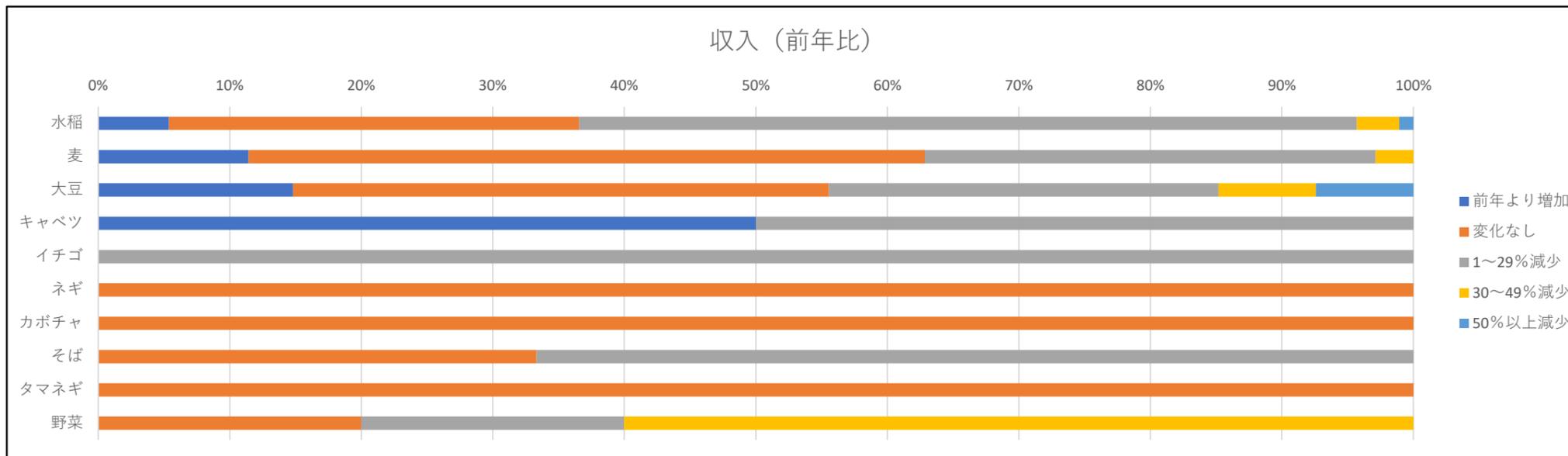
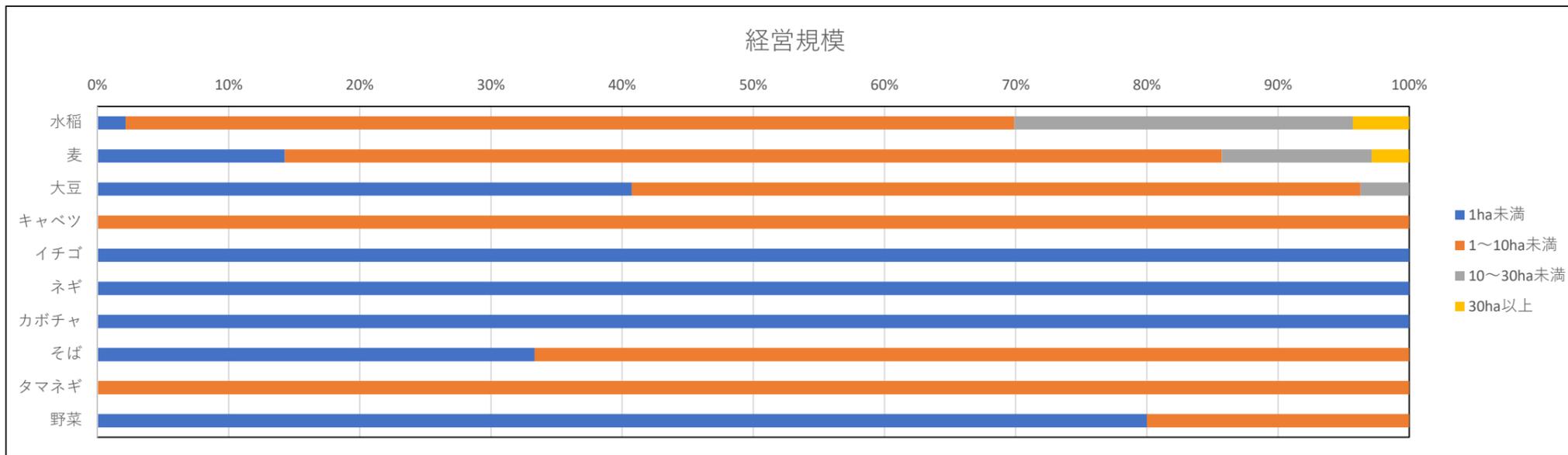


価格下落(水稻)
水や肥料の管理(水稻)
肥料高騰(水稻、大豆、麦)
降雪(ブロッコリー)
需要の減少(水稻)
収量の減少(水稻、大豆、麦)
販売先の減少(水稻)
農薬の高騰。
飼料用米転換(水稻)
諸経費の値上がり(麦、大豆)
農業資材の値上げ(水稻、麦)
消費の減少(そば)
麦のランクがBになった(麦)
単価の減少(水稻)
カントリー利用料の増加(水稻)
天候(水稻、そば)
播種時、うねを立てている(大豆)
集団転作で営農組合会計だが収量は少ない(麦)
直経営面積の増加(水稻)
自家作業ではなくカントリー利用の為(水稻)



問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 浅井地区

品目	1ha未満	1~10ha未満	10~30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1~29%減少	30~49%減少	50%以上減少	合計	要因(増加)
水稻	2	63	24	4	93	5	29	55	3	1	93	収量の増加(麦、大豆、水稻) 収穫増による補助金増(麦)
麦	5	25	4	1	35	4	18	12	1		35	マニュアルの励行(麦) 無農薬(水稻、大豆)
大豆	11	15	1		27	4	11	8	2	2	27	高価格帯を増やした(水稻) 多品種で増収(水稻)
キャベツ		2			2	1		1			2	直売の増加(水稻)
イチゴ	3				3			3			3	数量払いの増加(そば)
ネギ	1				1		1				1	品質向上、収穫増(大豆)
カボチャ	1				1		1				1	新設の組織なので比較出来ない(水稻)
そば	1	2			3		1	2			3	補助金制度(麦、大豆) 特に工夫なし(水稻)
タマネギ		1			1		1				1	面積増(大豆、水稻)
野菜	4	1			5		1	1	3		5	土壌改良剤の適期使用(麦) 農地が増えた(水稻) 適正時期の植付け(水稻) 必要最低限の肥料や農薬(水稻) 恵まれた天候(いちご) 土壌改良剤を減らした(水稻)
計	28	109	29	5	171	14	63	82	9	3	171	



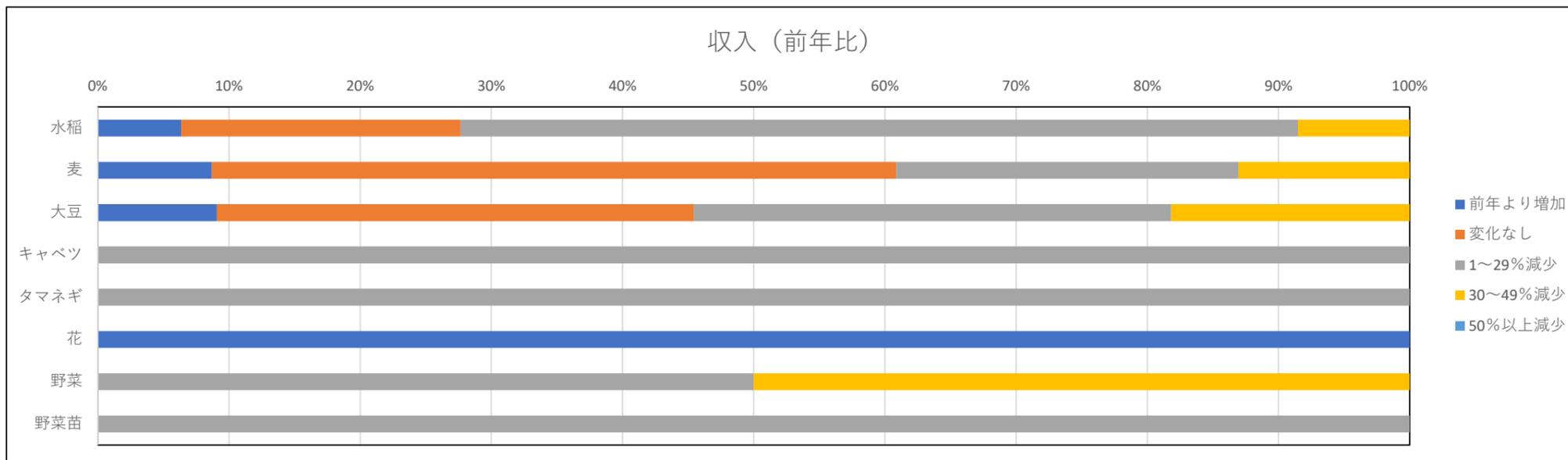
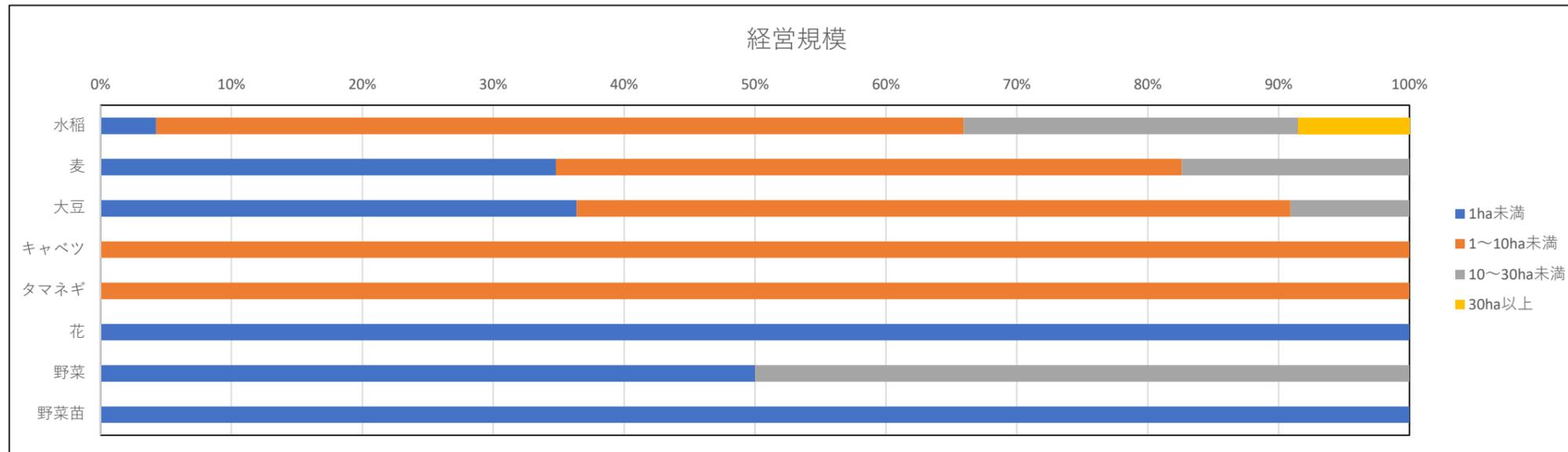
- 要因(増加)
- 収量の増加(麦、大豆、水稻)
 - 収穫増による補助金増(麦)
 - マニュアルの励行(麦)
 - 無農薬(水稻、大豆)
 - 高価格帯を増やした(水稻)
 - 多品種で増収(水稻)
 - 直売の増加(水稻)
 - 数量払いの増加(そば)
 - 品質向上、収穫増(大豆)
 - 新設の組織なので比較出来ない(水稻)
 - 補助金制度(麦、大豆)
 - 特に工夫なし(水稻)
 - 面積増(大豆、水稻)
 - 土壌改良剤の適期使用(麦)
 - 農地が増えた(水稻)
 - 適正時期の植付け(水稻)
 - 必要最低限の肥料や農薬(水稻)
 - 恵まれた天候(いちご)
 - 土壌改良剤を減らした(水稻)
- 要因(減少)
- 高齢のため意欲激減(水稻)
 - 米価下落(水稻)
 - 中古農機の修理費負担増(水稻)
 - 物価高(水稻)
 - 環境こだわりを止める(水稻)
 - 肥料等諸経費の高騰(水稻、麦)
 - 高齢による(水稻、野菜)
 - いもち病による減収(水稻)
 - 収量減少(麦、水稻)
 - コロナ禍による売上減少(野菜、水稻、
 - 減反の面積増(水稻、麦)
 - 前年の収量減のため単収としては悪い
 - 売上増だが助成金の減少(いちご)
 - 獣害(大豆)
 - 水田に雑草を投げ込まれた(水稻、小豆)
 - 労働時間の減少(野菜)
 - 大雪等天候不順(野菜)
 - 経営努力の衰退(水稻、麦)
 - 作付け減(麦、大豆、野菜)
 - 買い上げ価格の変動(水稻)
 - 補助金減(水稻、麦)

問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 びわ地区

品目	1ha未満	1～10ha未満	10～30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1～29%減少	30～49%減少	50%以上減少	合計
水稲	2	29	12	4	47	3	10	30	4		47
麦	8	11	4		23	2	12	6	3		23
大豆	8	12	2		22	2	8	8	4		22
キャベツ		1			1			1			1
タマネギ		1			1			1			1
花	1				1	1					1
野菜	1		1		2			1	1		2
野菜苗	1				1			1			1
					0						0
計	21	54	19	4	98	8	30	48	12	0	98

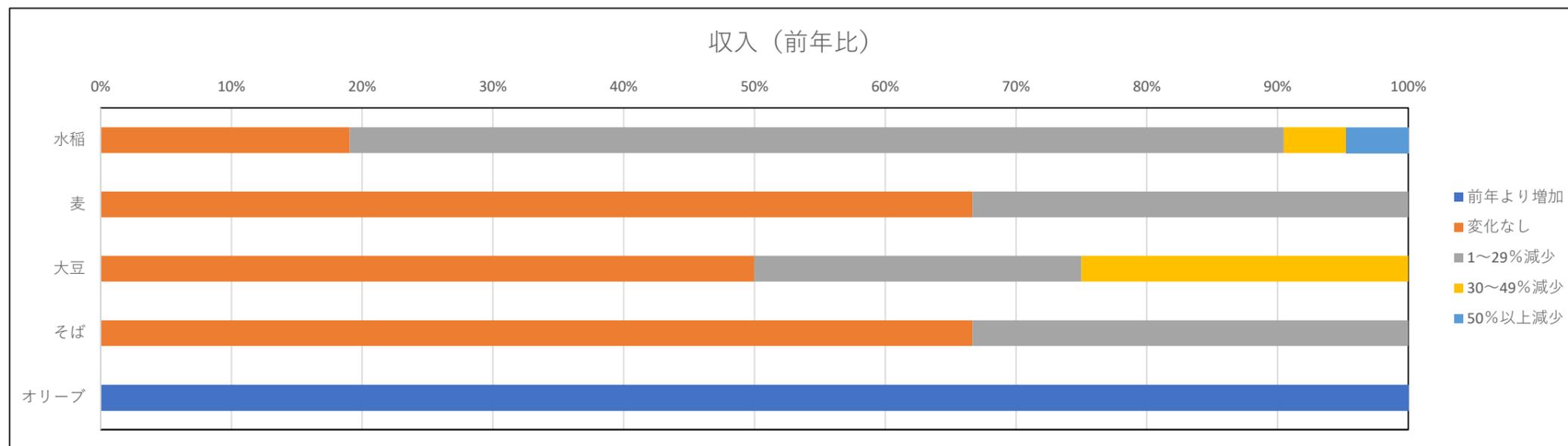
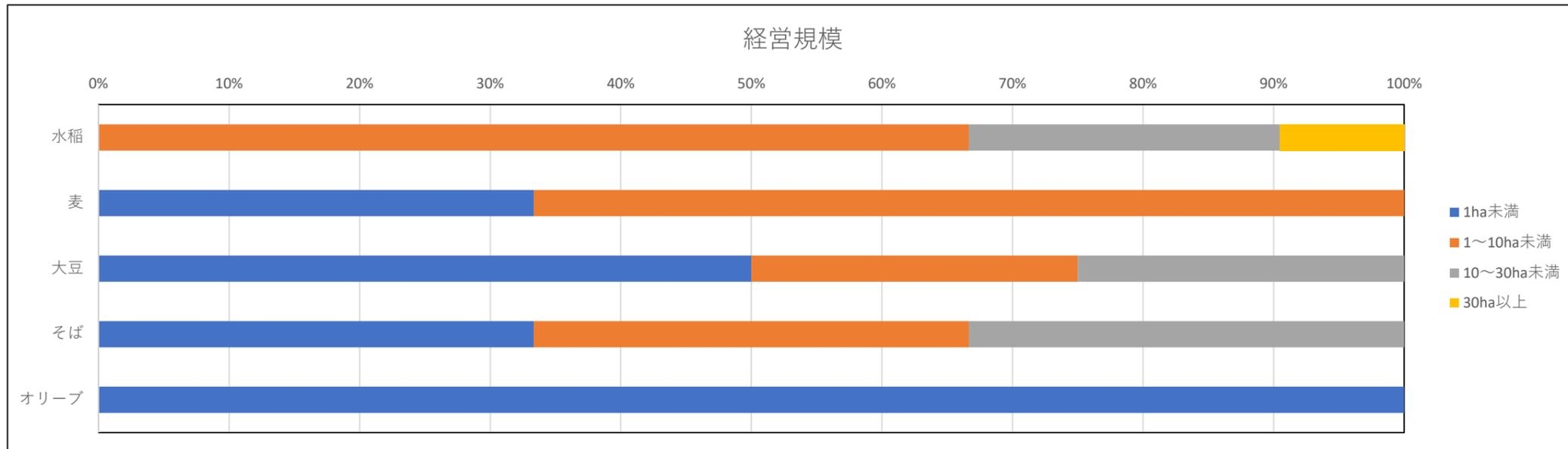
要因(増加)
 耕作面積の増加(水稲)
 播種時期を天候次第で調節(大豆)
 収穫量増加(花)
 排水対策(麦、大豆)
 転作面積の増加(麦、大豆)
 適期作業(麦、大豆)

要因(減少)
 米価下落(水稲)
 コスト削減(水稲)
 もみ織をせず農協に出荷する為(水稲)
 販売価格の下落(水稲)
 収量減少(水稲、キャベツ、大豆、麦)
 天候不順(玉ねぎ)
 生育不良(玉ねぎ)
 コロナ禍による取引先の出荷停滞(野菜)
 売上単価の低下(水稲)
 病害虫(水稲)
 自然災害(麦、大豆)
 農業者減少による面積減(水稲、麦、大豆)
 作付け面積減(大豆、麦)
 肥料等資材の高騰(水稲、麦、大豆、野菜)



問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 虎姫地区

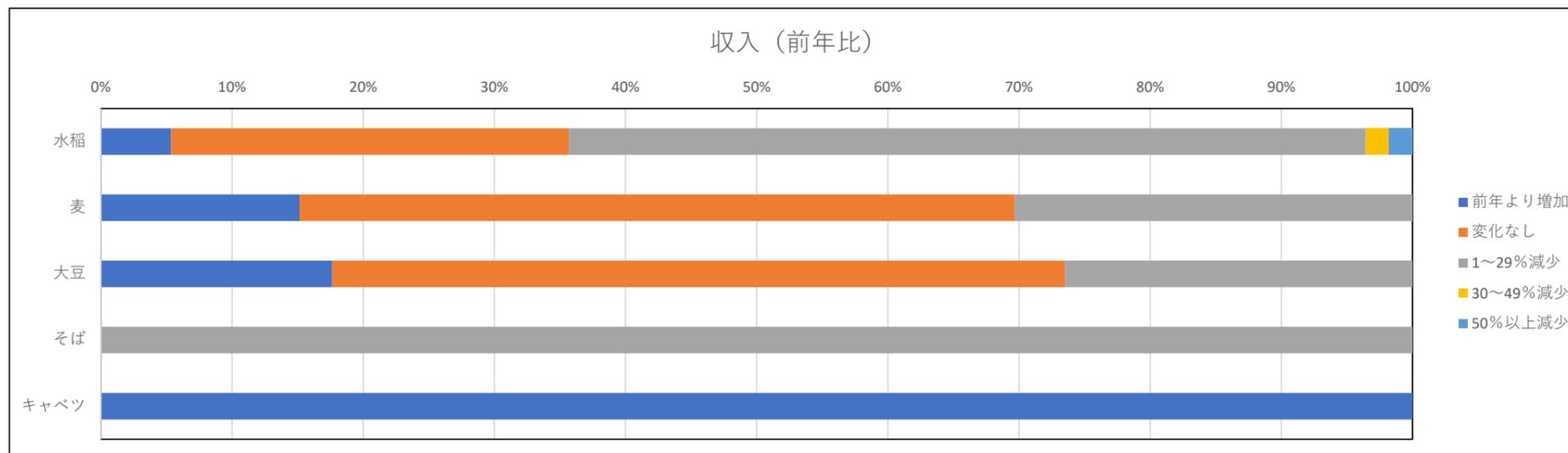
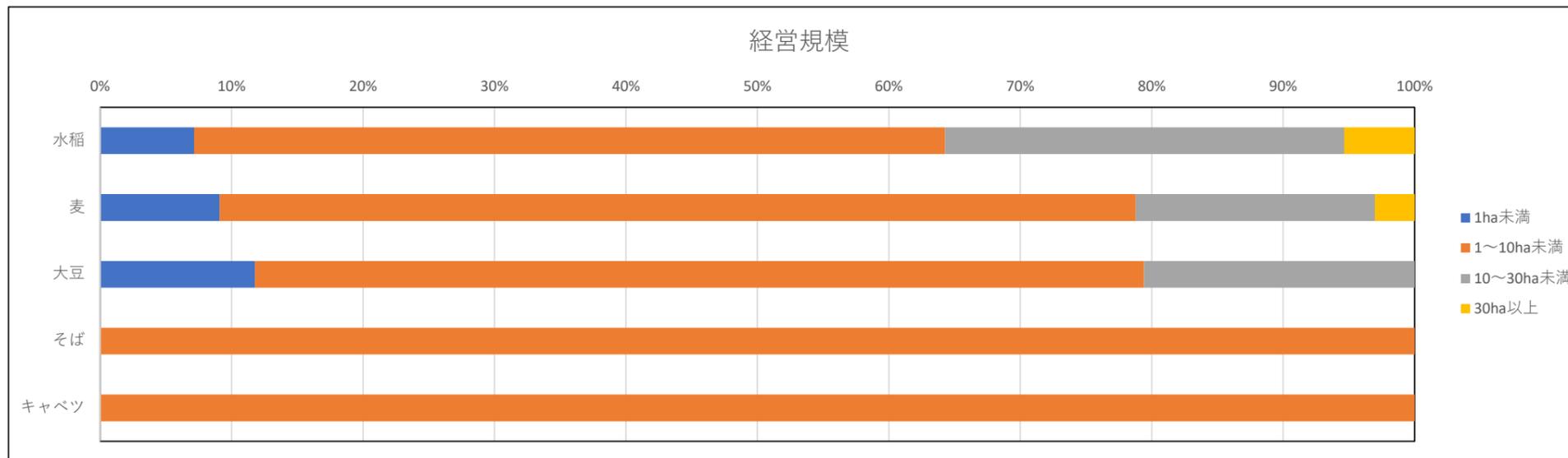
品目	1ha未満	1～10ha未満	10～30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1～29%減少	30～49%減少	50%以上減少	合計	要因(増加)
水稻		14	5	2	21		4	15	1	1	21	湿害防止に努めた(そば)
麦	1	2			3		2	1			3	
大豆	2	1	1		4		2	1	1		4	要因(減少)
そば	1	1	1		3		2	1			3	米価下落(水稻)
オリーブ	1				1	1					1	資材費、光熱費の高騰(水稻)
					0						0	天候不順(大豆)
					0						0	収量減少(大豆、水稻)
					0						0	長雨による発芽不良(そば)
					0						0	肥料、農薬の高騰(水稻)
計	5	18	7	2	32	1	10	18	2	1	32	農機の修理費負担増(水稻)



問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 湖北地区

品目	1ha未満	1～10ha未満	10～30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1～29%減少	30～49%減少	50%以上減少	合計	要因(増加)
水稻	4	32	17	3	56	3	17	34	1	1	56	作付けし始めた(水稻)
麦	3	23	6	1	33	5	18	10			33	通常通り(水稻)(麦)
大豆	4	23	7		34	6	19	9			34	前年度が悪すぎた(水稻)(麦)
そば		1			1			1			1	土改資材の搬入(水稻)
キャベツ		1			1	1					1	うね立てと同時に播種を実地(大豆)
					0						0	需要ある品種にしぼって作付け(水稻)
					0						0	面積拡大(麦)(大豆)
					0						0	周りの農家が離農したため(水稻)(麦)(大豆)
					0						0	収穫量の増加(大豆)
計	11	80	30	4	125	15	54	54	1	1	125	

要因(減少)
 価格の減少(水稻)(大豆)
 資材の高騰(水稻)
 売上の減少(水稻)
 倒状(水稻)
 機械導入(水稻)
 収穫量の減少(水稻)(麦)(大豆)
 獣害、価格の減少(そば)
 獣害、発芽障害(大豆)

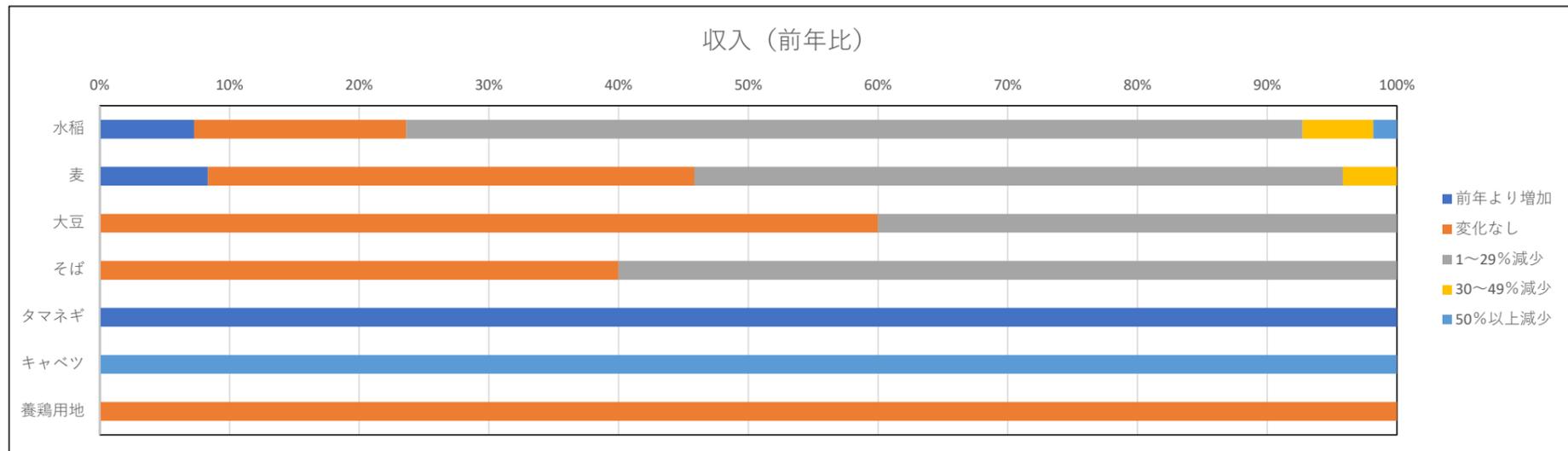
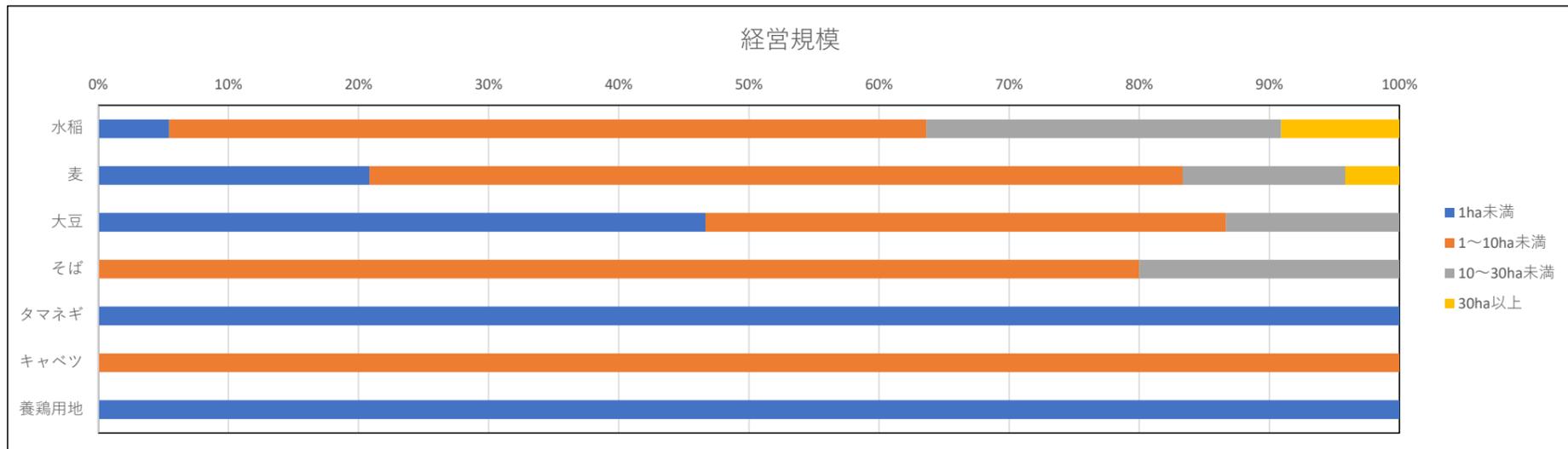


問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 高月地区

品目	1ha未満	1～10ha未満	10～30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1～29%減少	30～49%減少	50%以上減少	合計
水稻	3	32	15	5	55	4	9	38	3	1	55
麦	5	15	3	1	24	2	9	12	1		24
大豆	7	6	2		15		9	6			15
そば		4	1		5		2	3			5
玉ねぎ	1				1	1					1
キャベツ		1			1					1	1
養鶏用地	1				1		1				1
					0						0
					0						0
計	17	58	21	6	102	7	30	59	4	2	102

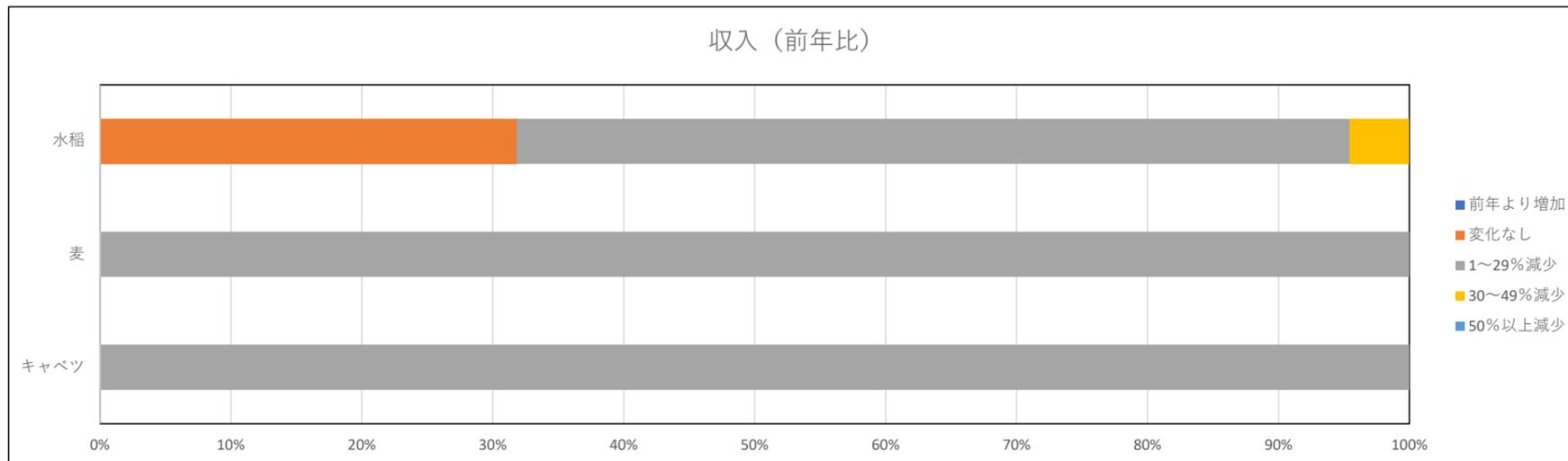
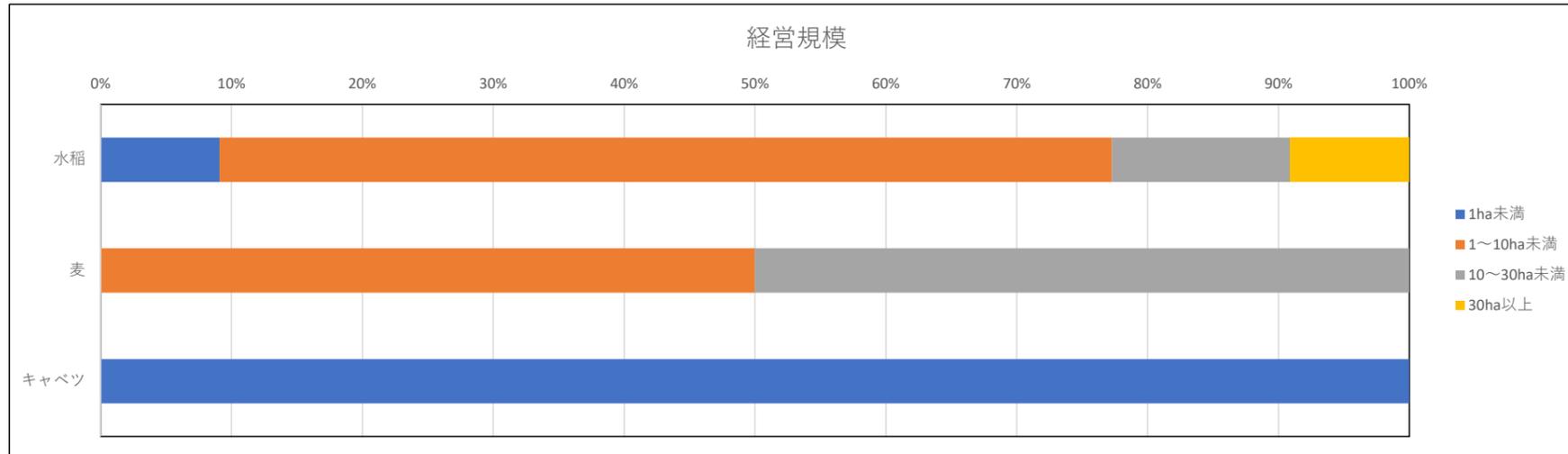
要因(増加)
 作付面積を拡大(水稻)
 作付面積を拡大(麦)
 作付面積を拡大(大豆)
 販売価格の上昇、業者と交渉(そば)
 天候による減収(そば)
 排水対策の強化(そば)
 苗の販売が好調、他の生産地域の不振にて販売増加(玉ねぎ)

要因(減少)
 価格が減少した(水稻)
 いもち病(水稻)
 収穫量の減少(麦)
 価格が減少した(麦)
 湿害による減少(麦)
 収穫作業の遅れ(大豆)
 価格が減少した(そば)
 委託販売代金よりJA利用料が高い(麦)
 農業資材の高騰(水稻)
 農業資材の高騰(大豆)
 農業資材の高騰(麦)
 作付面積の減少(麦)
 収穫量の減少、倒伏(水稻)
 天候不良(水稻)
 農業肥料の高騰(水稻)
 需要の減少(水稻)
 需要の減少、消費者庁により遺伝子組み換えの表記ができなくなった(大豆)



問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 木之本地区

品目	1ha未満	1～10ha未満	10～30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1～29%減少	30～49%減少	50%以上減少	合計	要因(増加)
水稻	2	15	3	2	22		7	14	1		22	ヒエ等の草を、手で取り除いている。
麦		1	1		2			2			2	
キャベツ	1				1			1			1	
					0						0	要因(減少)
					0						0	価格の減少と補助金の減少(水稻)
					0						0	機械の修理代がかかる。(水稻)
					0						0	転作面積が増えた。隣の病害虫の被害にあった。(水稻)
					0						0	播種機の不備により、種もみの落ちが悪く、発芽不良で収量減。(水稻)
計	3	16	4	2	25	0	7	17	1	0	25	栽培地が地盤沈下して水はけが悪く、十分に生育していないところがあった。 気候変動により、雨の為減収した。(水稻)

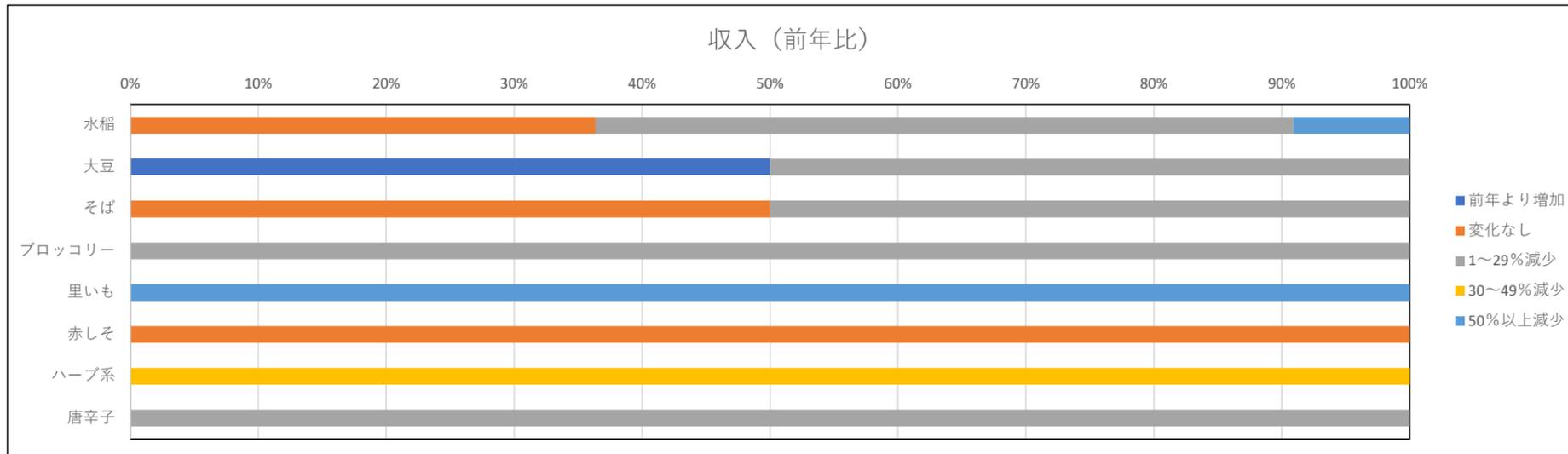
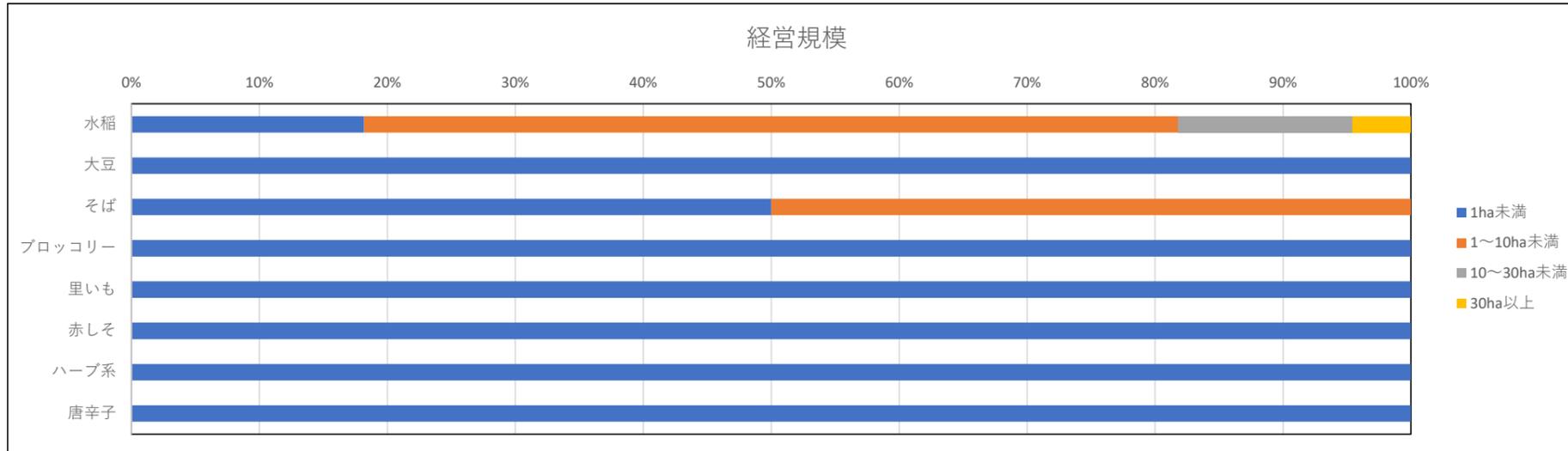


問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 余呉地区

品目	1ha未満	1~10ha未満	10~30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1~29%減少	30~49%減少	50%以上減少	合計
水稲	4	14	3	1	22		8	12		2	22
大豆	2				2	1		1			2
そば	1	1			2		1	1			2
ブロッコリー	1				1			1			1
里芋	1				1					1	1
赤しそ	1				1		1				1
ハーブ系	1				1				1		1
唐辛子	1				1			1			1
計	12	15	3	1	31	1	10	16	1	3	31

要因(増加)
 価格の減少の為、個人販売に力を入れた。(水稲)
 施肥量を調整して、倒れないようにした。(水稲)

要因(減少)
 天候、機械設定ミス、購入苗の不良(水稲)
 価格の低下(水稲)
 資材の値上がり(水稲)
 いもち病(水稲)
 作付け面積の減少(ブロッコリー)
 根腐れ(里芋)
 需要減(水稲)
 新型コロナウイルス感染症による来客の減少(そば)

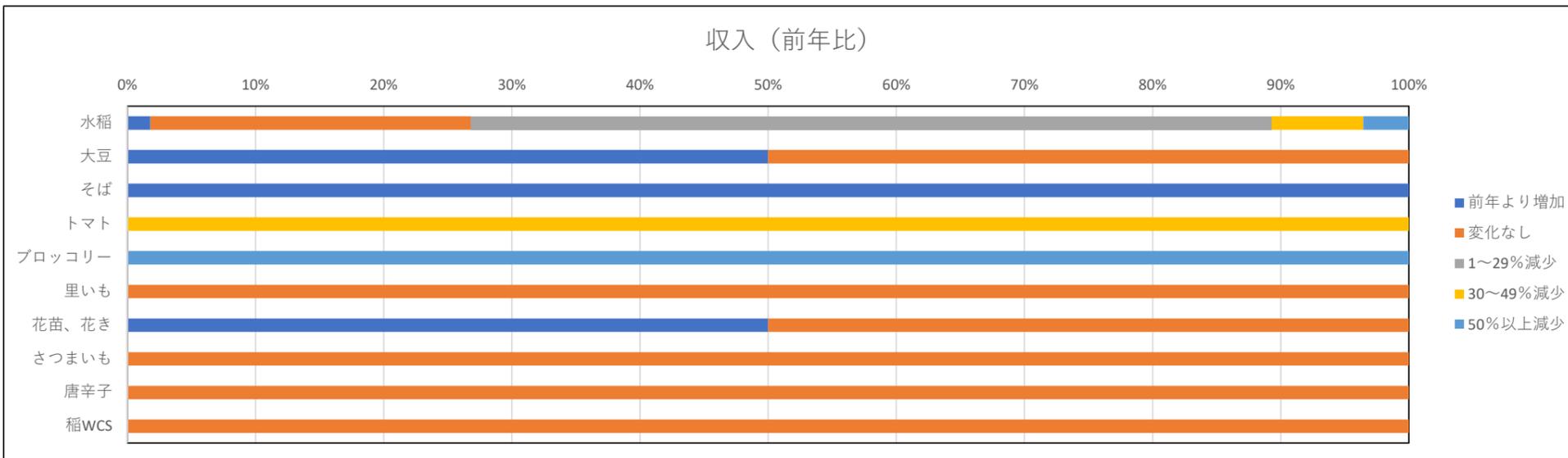
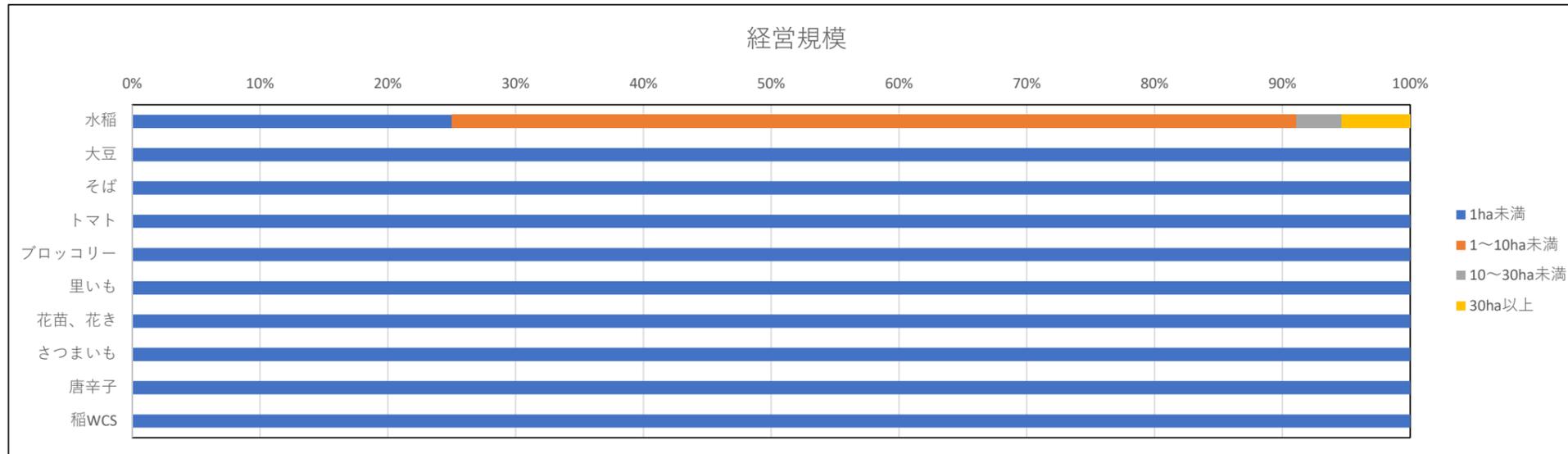


問3 収入第1位から第3位 品目、経営規模 問4 対前年比、その要因 西浅井地区

品目	1ha未満	1～10ha未満	10～30ha未満	30ha以上	合計	前年より増加	変化なし	1～29%減少	30～49%減少	50%以上減少	合計
水稻	14	37	2	3	56	1	14	35	4	2	56
大豆	2				2	1	1				2
そば	1				1	1					1
トマト	1				1				1		1
ブロッコリー	1				1					1	1
里芋	1				1		1				1
花苗、花き	2				2	1	1				2
さつまいも	1				1		1				1
唐辛子	1				1		1				1
稲WCS	1				1		1				1
計	25	37	2	3	67	4	20	35	5	3	67

要因(増加)
 保全管理地、やむなく植付(水稻)
 現状維持に努めた(水稻)
 売れる品種を模索(大豆)
 昨年度より始めた(そば)
 昨年度より始めた(花き)
 栽培量の増加(花苗)
 ほぼ助成金の品目の為、変化なし(稲WCS)

要因(減少)
 価格の減少(水稻)
 全量、JA出荷の為(水稻)
 収穫の減少(水稻)
 資材の値上がり(水稻)
 倒状のため(水稻)
 いもち病(水稻)
 機械類の購入(水稻)
 新型コロナウイルス感染症の影響(水稻)
 新型コロナウイルス感染症の影響(トマト)
 連作障害(ブロッコリー)
 客数の減少(水稻)

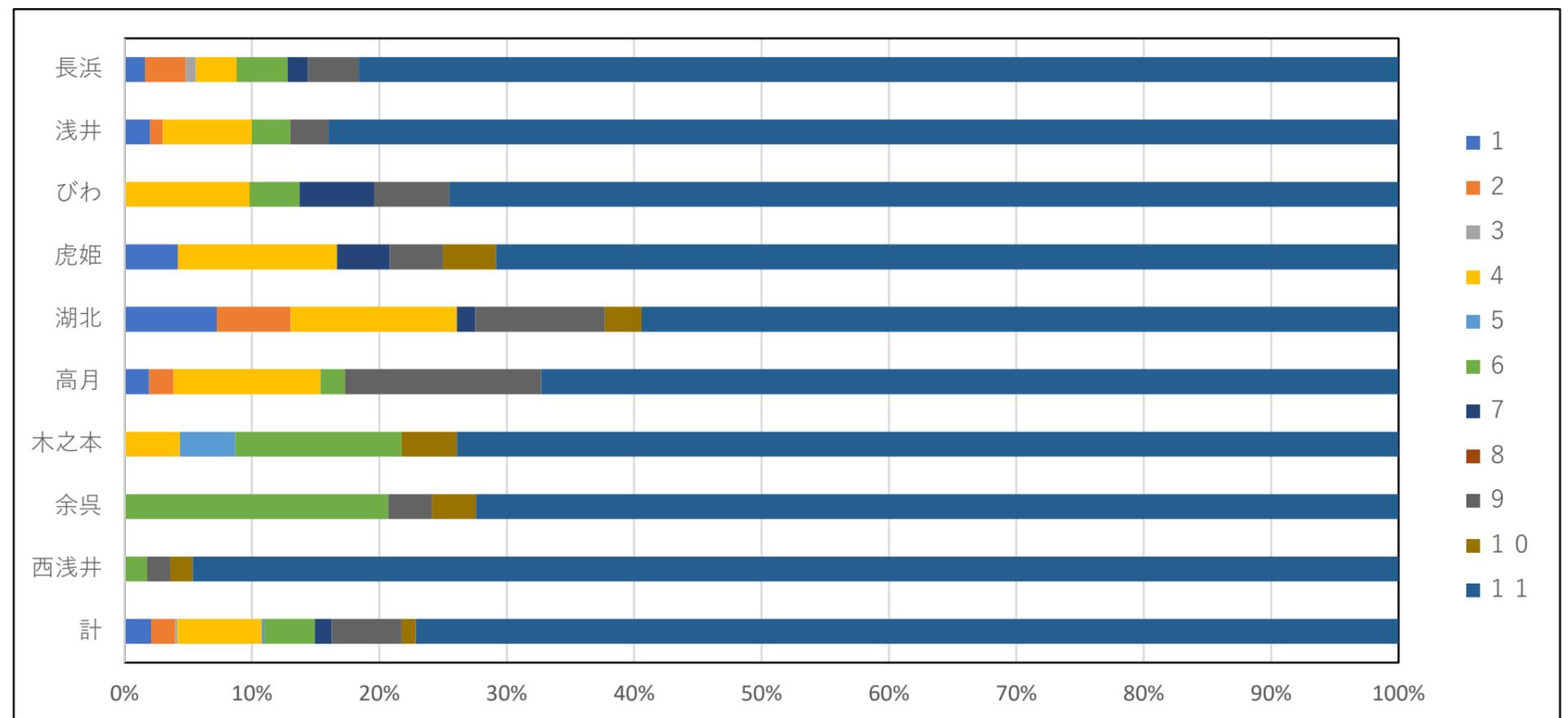


問 5-① 現在、導入しているスマート農業技術はありますか。(複数回答可)

1	営農管理システム	7	高性能コンバイン
2	直進アシストトラクター	8	ロボットコンバイン
3	ロボットトラクター	9	農業用ドローン
4	直進アシスト田植機	10	その他
5	ロボット田植機	11	特になし
6	可変施肥田植機		

地区名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
長浜	2	4	1	4		5	2		5		102	125
浅井	2	1		7		3			3		84	100
びわ				5		2	3		3		38	51
虎姫	1			3			1		1	1	17	24
湖北	5	4		9			1		7	2	41	69
高月	1	1		6		1			8		35	52
木之本				1	1	3				1	17	23
余呉						6			1	1	21	29
西浅井						1			1	1	53	56
計	11	10	1	35	1	21	7	0	29	6	408	529

10 その他
興味がない。
除草ボート
何もできない
水位センサーの活用
温度センサーの活用
リモコン草刈り機

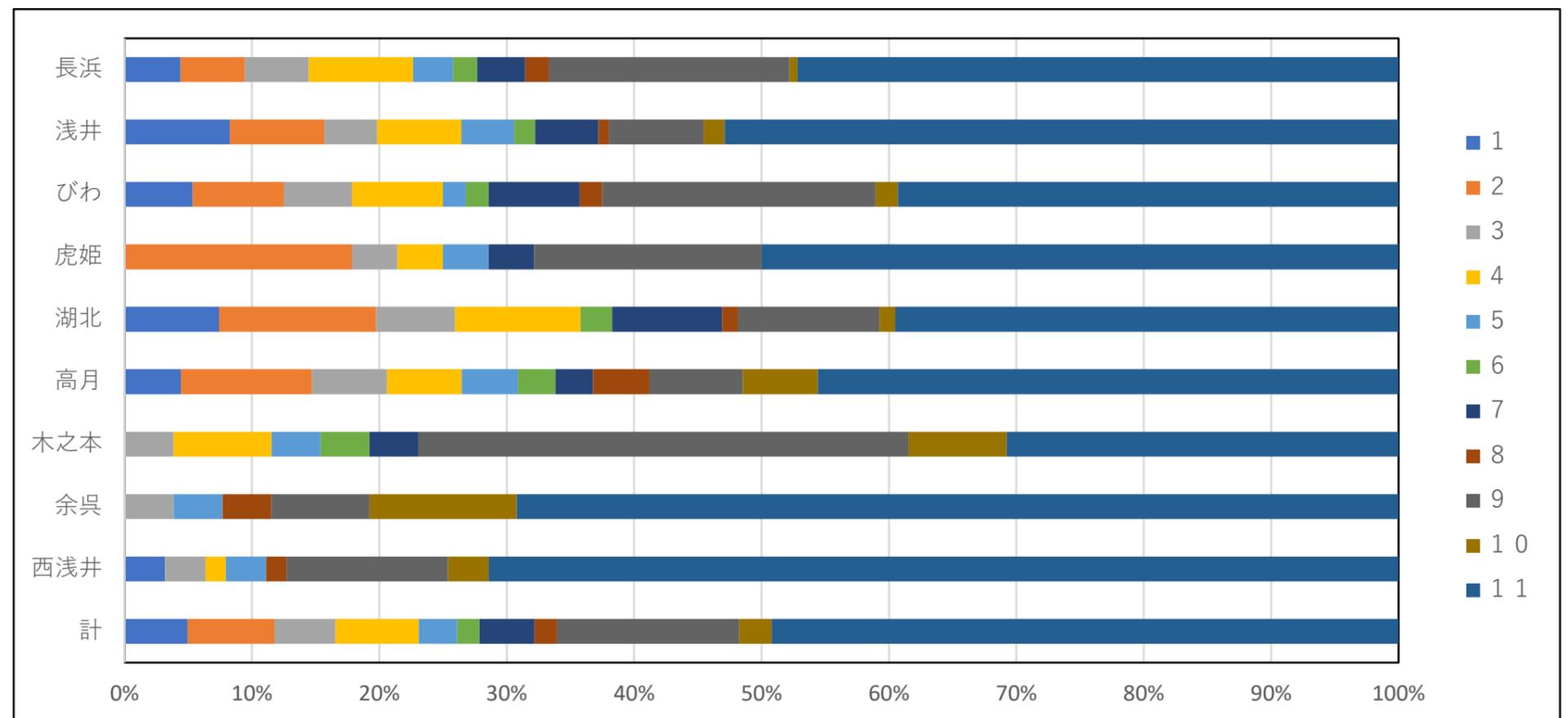


問 5-② 今後、導入したい。興味のあるスマート農業技術はありますか。(複数回答可)

1	営農管理システム	7	高性能コンバイン
2	直進アシストトラクター	8	ロボットコンバイン
3	ロボットトラクター	9	農業用ドローン
4	直進アシスト田植機	10	その他
5	ロボット田植機		
6	可変施肥田植機	11	特になし

地区名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
長浜	7	8	8	13	5	3	6	3	30	1	75	159
浅井	10	9	5	8	5	2	6	1	9	2	64	121
びわ	3	4	3	4	1	1	4	1	12	1	22	56
虎姫		5	1	1	1		1		5	0	14	28
湖北	6	10	5	8		2	7	1	9	1	32	81
高月	3	7	4	4	3	2	2	3	5	4	31	68
木之本			1	2	1	1	1		10	2	8	26
余呉			1		1			1	2	3	18	26
西浅井	2		2	1	2			1	8	2	45	63
計	31	43	30	41	19	11	27	11	90	16	309	628

10 その他
消毒用ロボット。
後付け自動操舵リモコン草刈り機
後付け直進アシスト装置
ハウスの温度水、管理
自動草刈り機
真空播種機
自動操舵装置



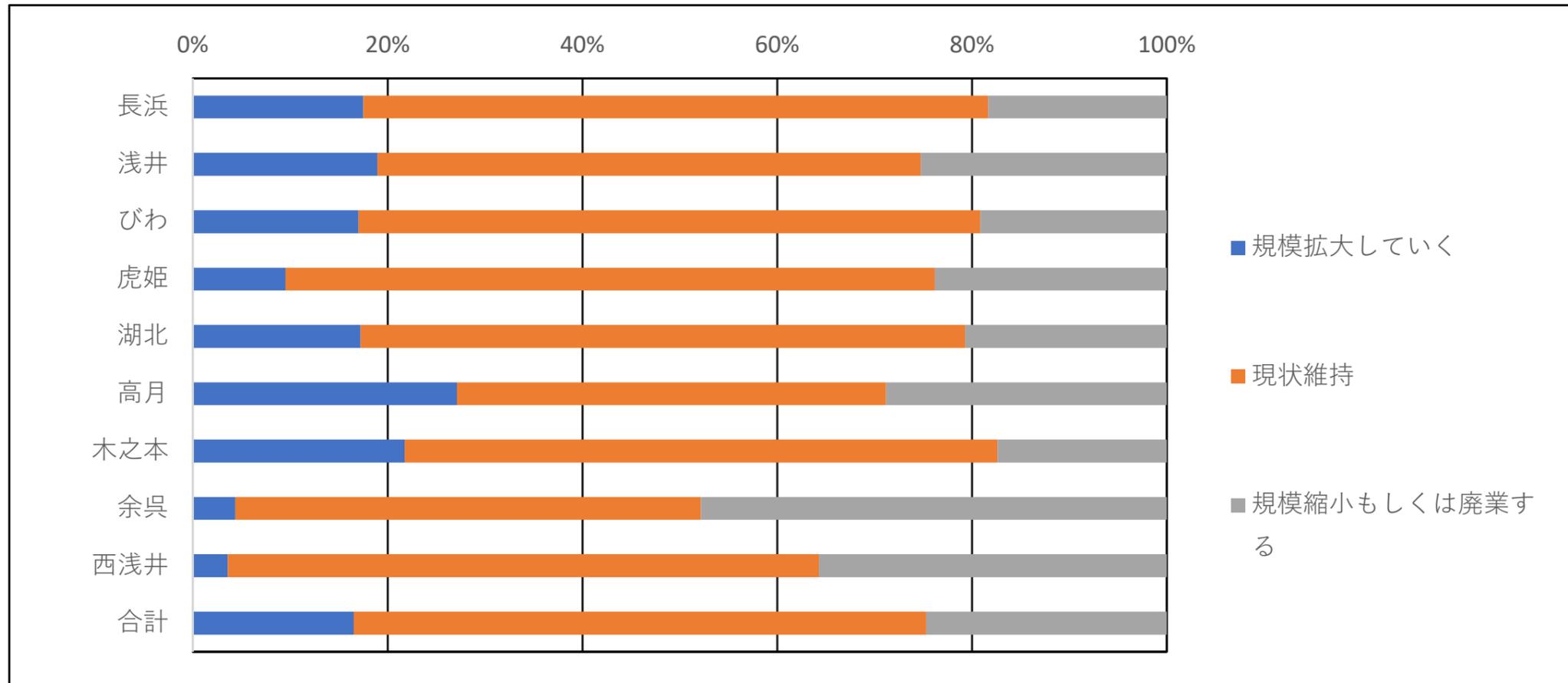
問 5-③ スマート農業を導入するにあたっての課題は何ですか。

価格が高い。
使用頻度。
高齢のため農業に関心がない。
米価格が下落しているのに高価な農機ばかり購入していたら赤字が大きくなるばかりである。
米等の販売価格と機械価格のギャップ。
補助金制度の充実。
直進アシストトラクターにおいて、溝切など設定した値で行うまでの精度はないのが残念。
投資回収見込みなし。
2～3ha作付けしている農家では価格が高い。又、高齢者では使いこなせないので大農家でも考えてしまう。
現状では考えにくい。
必要なし。
廃業予定につき導入なし。
後継者が定まらない。
経営規模が小さい。
圃場の整備が進んでない。(変形田、湿田、水利問題等)
人手不足。
スマート農業が良く理解出来ていないので研修等実績が必要なのでは。
ドローンの研修。
規制緩和。
農業用ドローンの国家資格の取得。IoTの取得など。
ハイテクドローンの開発。
資金調達が出来ない。
コロナ禍で先が見えない。
農業法人として農業経営を行っているが、任意積立額(留保金)が少なく、農機の更新に四苦八苦。有効な補助事業を求める。
組合組織による協同利用充実。
操作が難しい。
コスト削減、利益拡大。
補助金制度のあり方。
設備費。
環境変化(自然環境、為替レート、原材料価格、需要等)が大きすぎて、投資しても安定した収入が見込めない。
費用対効果。
米価が2倍にならないと。生産コストが上がる。
価格面
価格が高い為、投資効果がないと考える
安全面
時代の流れなので仕方ないが、今後、ますます栽培管理に熟練した農協者はすくなくなるだろう
購入資金
補助制度の拡充、法人ばかりではなく小規模農家へもお願いしたい。
農地の集約化、大規模化、自動化機械の導入が必要
取り付け、設定、操縦技術の取得が大変
ドローンを利用した栽培管理ソフトの開発が遅れている
現状の規模では必要なし
通信エラー

所有田保全のための農業経営で必要なし
養鶏飼料として大麦を作りたいが、シカによる食害があり、周囲に柵を設けている現状ではあるが、未だに完備していない。体調不良と家族の秩序もあって、思うようにできなかった。
特に肥料散布など、体力的に困難になってきた。
年齢的に考えていない。
農地の面積が少なく、段差が多い。
後継者が居ない為、設備投資が不可能。
バッテリー性能が向上すれば導入したい。
水田が深く、機械がスタックし、ロスが多い。
地域的に個人、家族で耕作しているのでできない。
獣害による気入低下
関心がない。
1反未満の田などで、中山間地には難。
試運転等してから購入したい。選ぶための情報不足。
近年、畔跳ばし等、区画の拡大により、農薬散布をスムーズに行えるよう、背負によりドローンへ。
新規栽培技術に向けた不安。

問6 今後の経営規模をどうしますか。

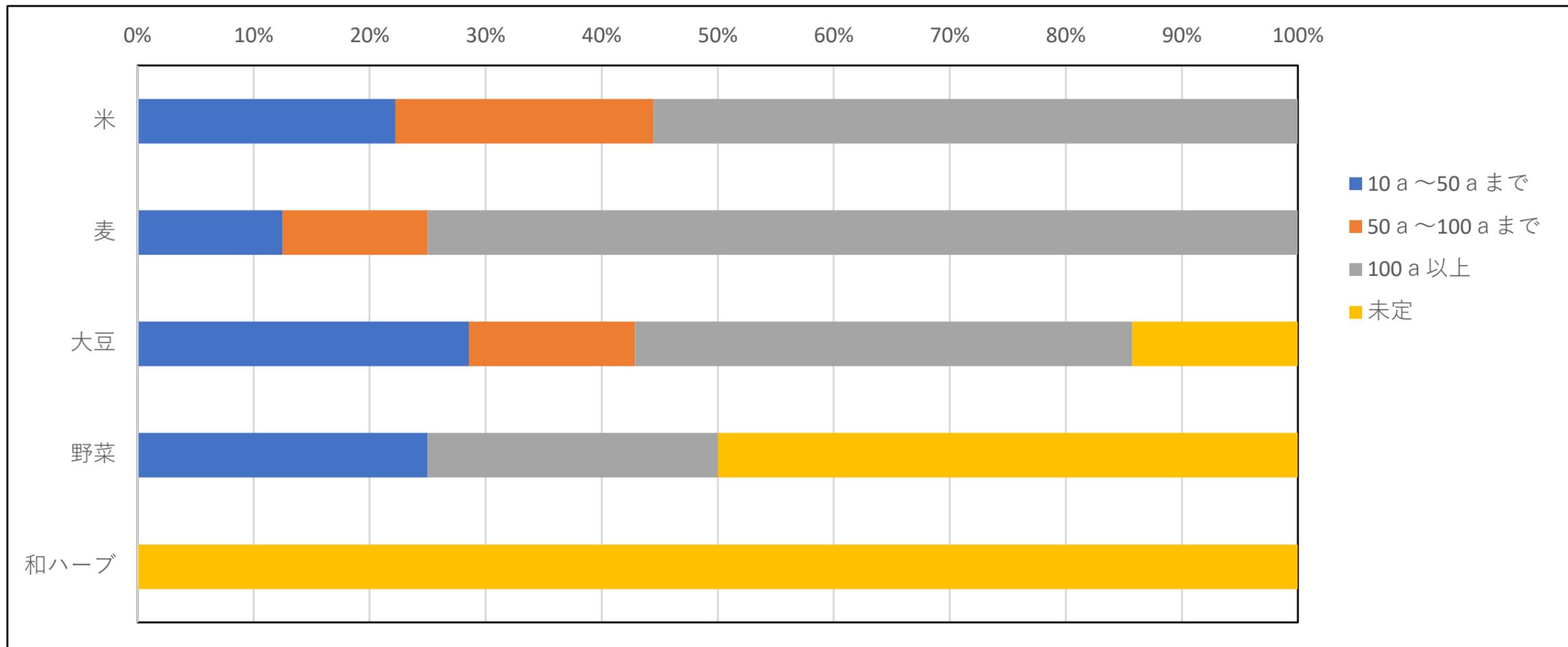
地区名	規模拡大していく	現状維持	規模縮小もしくは廃業する	合計	無回答	全体
長浜	21	77	22	120		120
浅井	18	53	24	95		95
びわ	8	30	9	47		47
虎姫	2	14	5	21		21
湖北	10	36	12	58		58
高月	16	26	17	59		59
木之本	5	14	4	23		23
余呉	1	11	11	23		23
西浅井	2	34	20	56		56
計	83	295	124	502	0	502



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

長浜地区

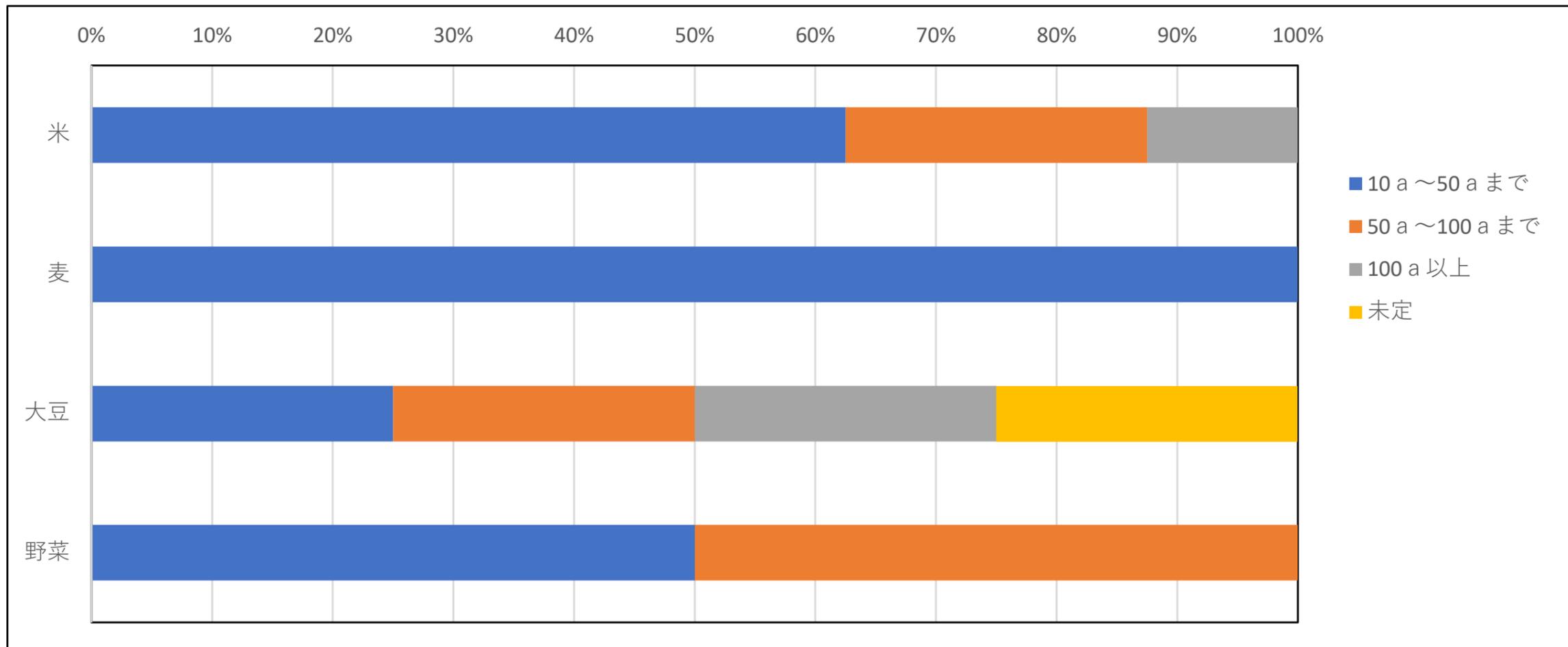
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	4	4	10		18
麦	1	1	6		8
大豆	2	1	3	1	7
野菜	1		1	2	4
和ハーブ				1	1
					0
					0
					0
計	8	6	20	4	34



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

浅井地区

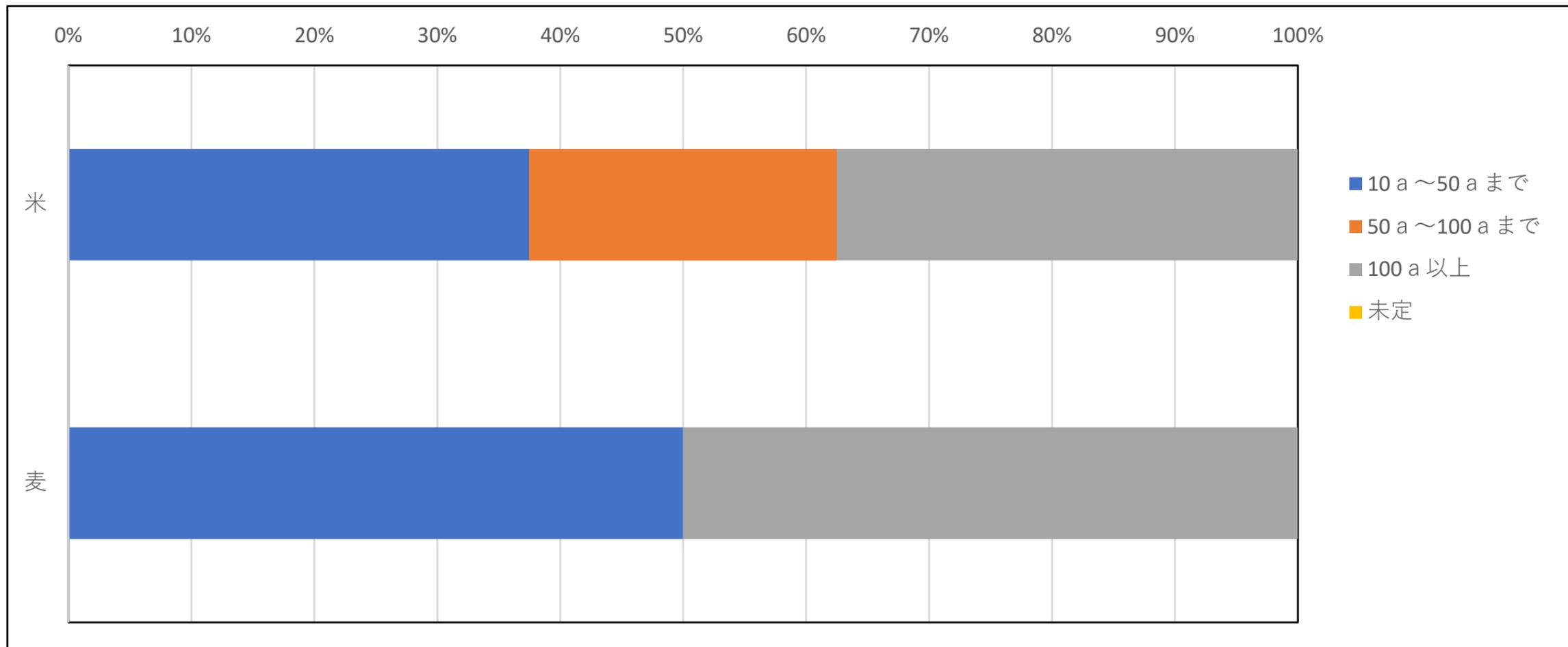
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	10	4	2		16
麦	5				5
大豆	1	1	1	1	4
野菜	1	1			2
					0
					0
					0
					0
計	17	6	3	1	26



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

びわ地区

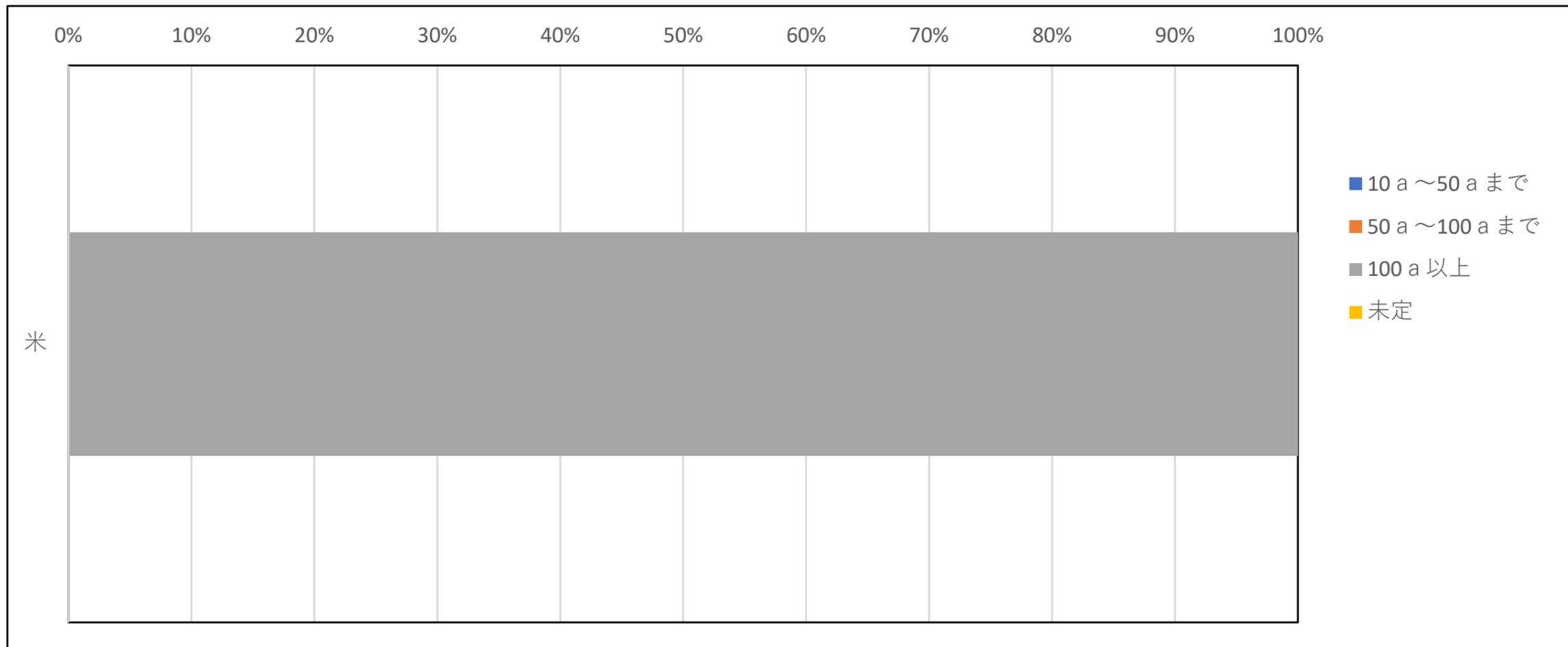
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	3	2	3		8
麦	2		2		4
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
計	5	2	5	0	12



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

虎姫地区

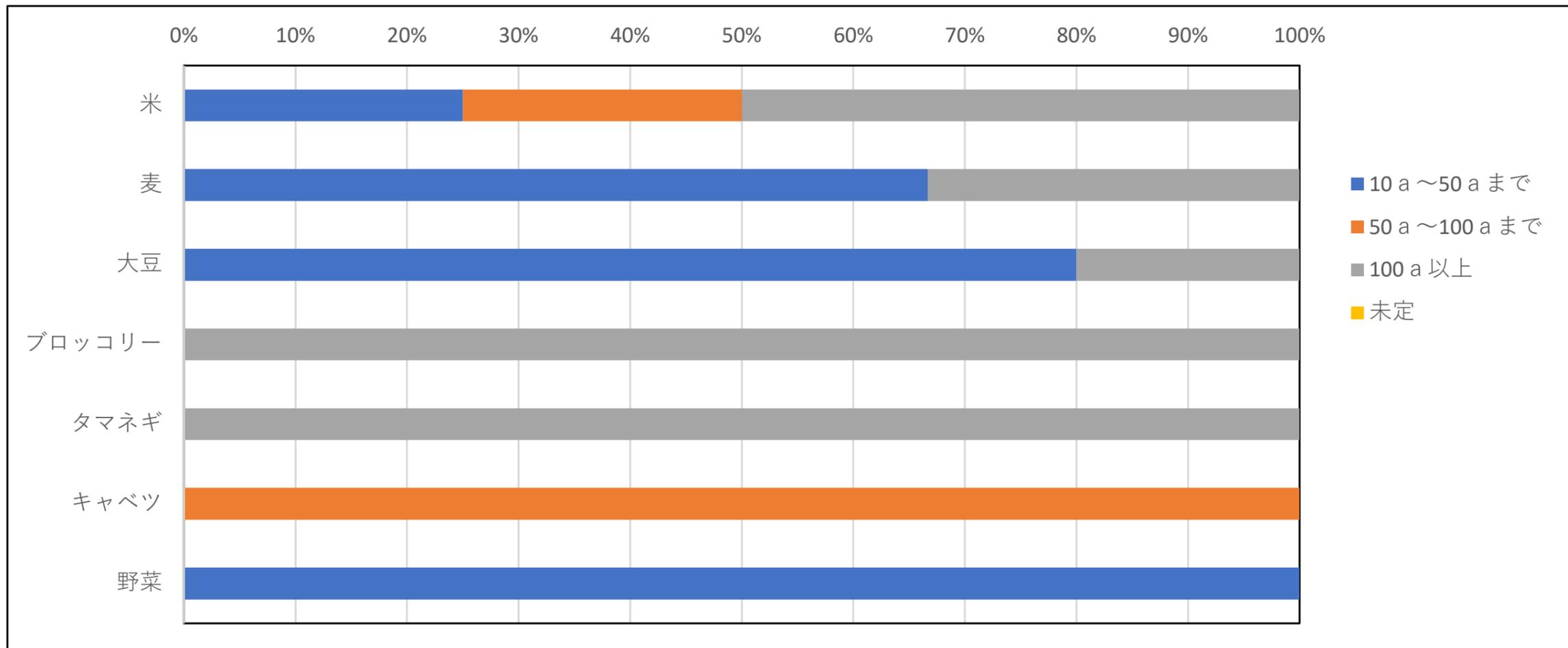
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米			2		2
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
計	0	0	2	0	2



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

湖北地区

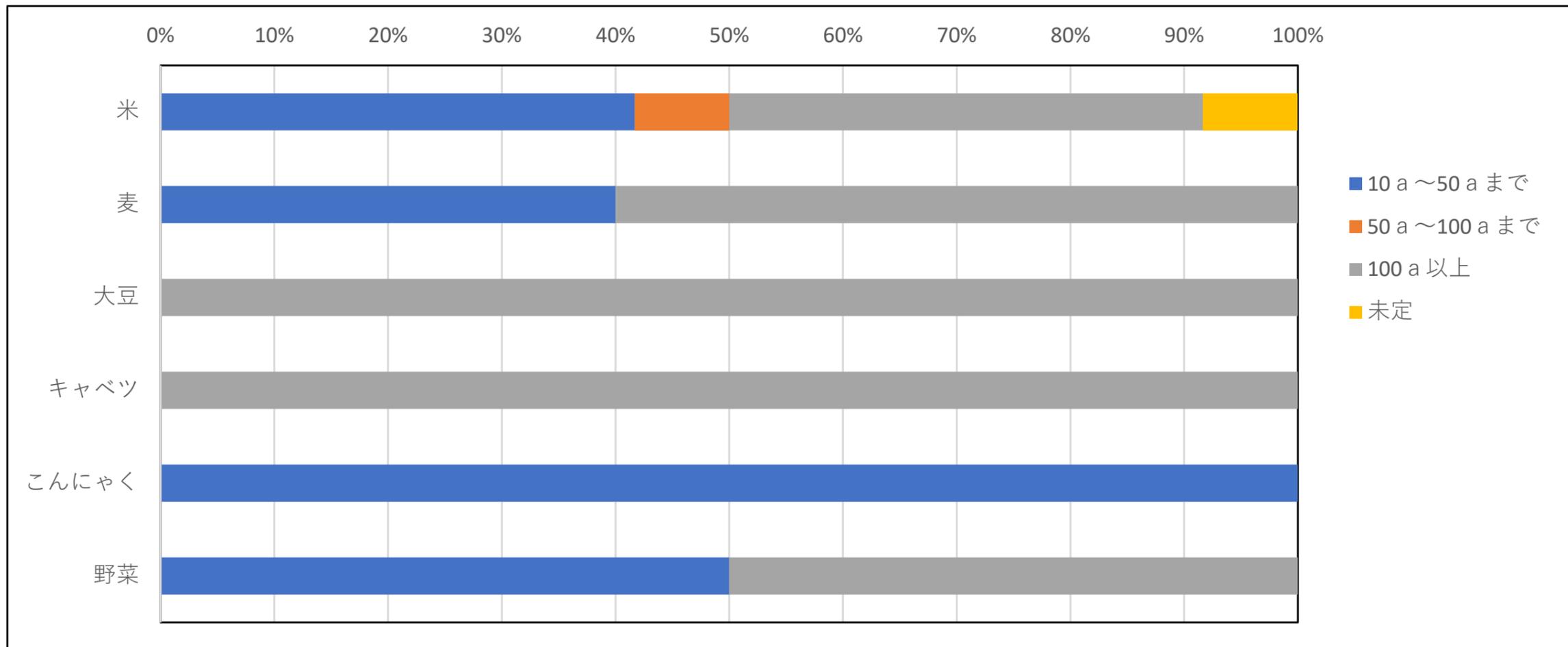
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	2	2	4		8
麦	4		2		6
大豆	4		1		5
ブロッコリー			1		1
玉ねぎ			1		1
キャベツ		1			1
野菜	1				1
					0
計	11	3	9	0	23



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

高月地区

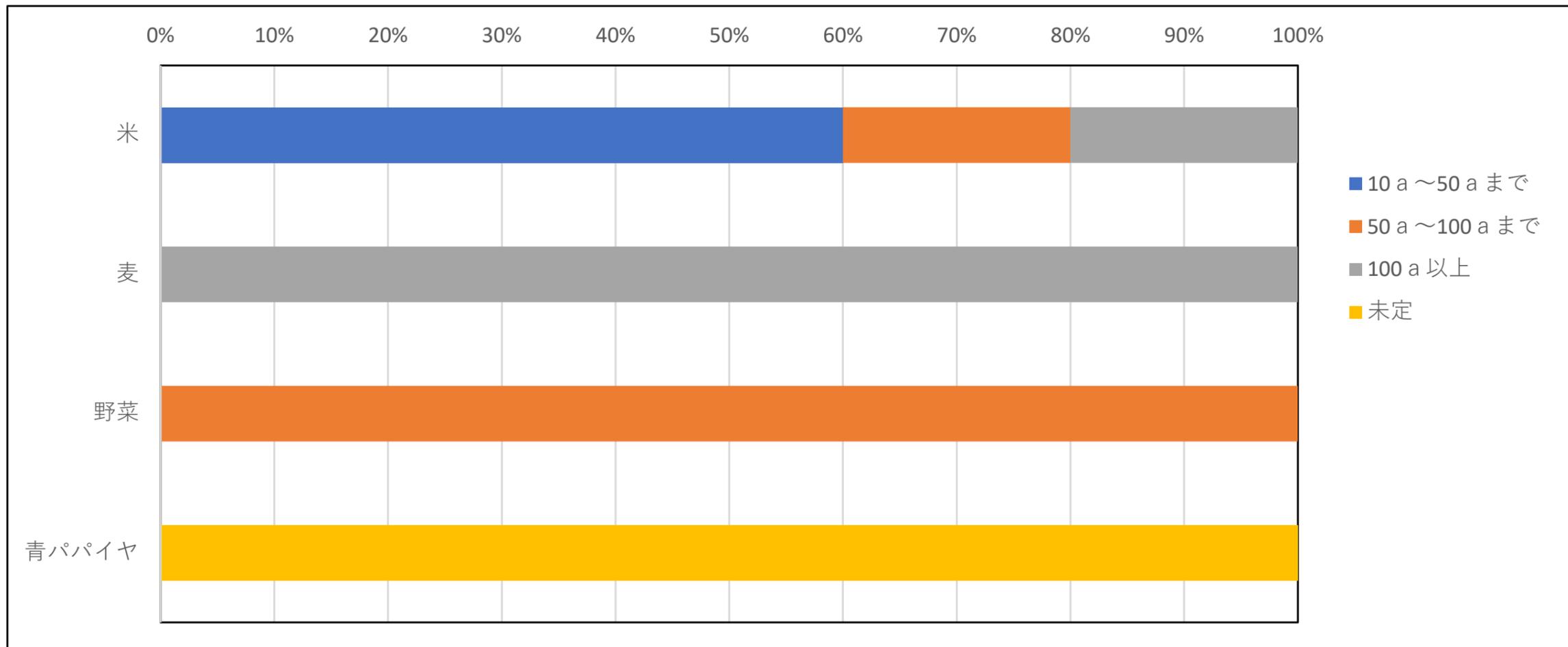
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	5	1	5	1	12
麦	2		3		5
大豆			1		1
キャベツ			1		1
コンニャク	1				1
野菜	1		1		2
					0
計	9	1	11	1	21



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

木之本地区

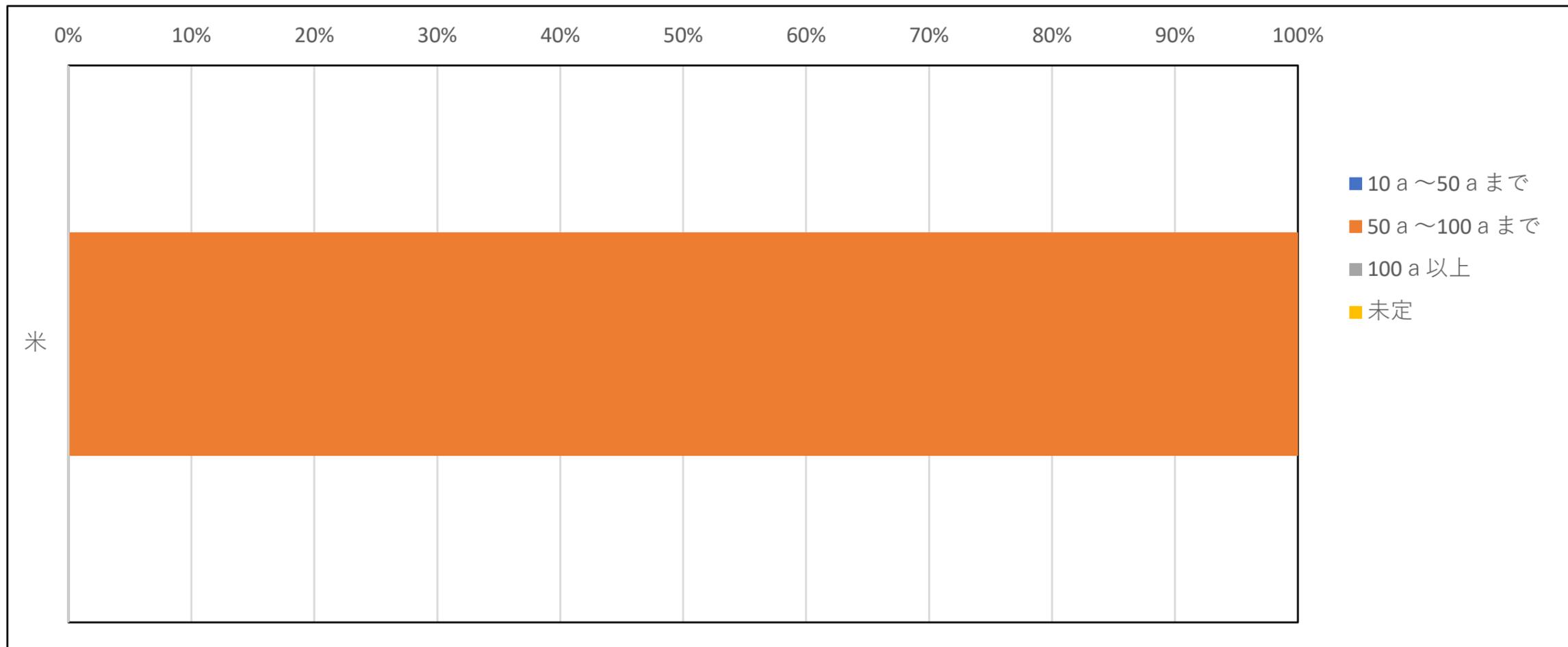
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	3	1	1		5
麦			1		1
野菜		1			1
青パパイヤ				1	1
					0
					0
					0
計	3	2	2	1	7



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

余呉地区

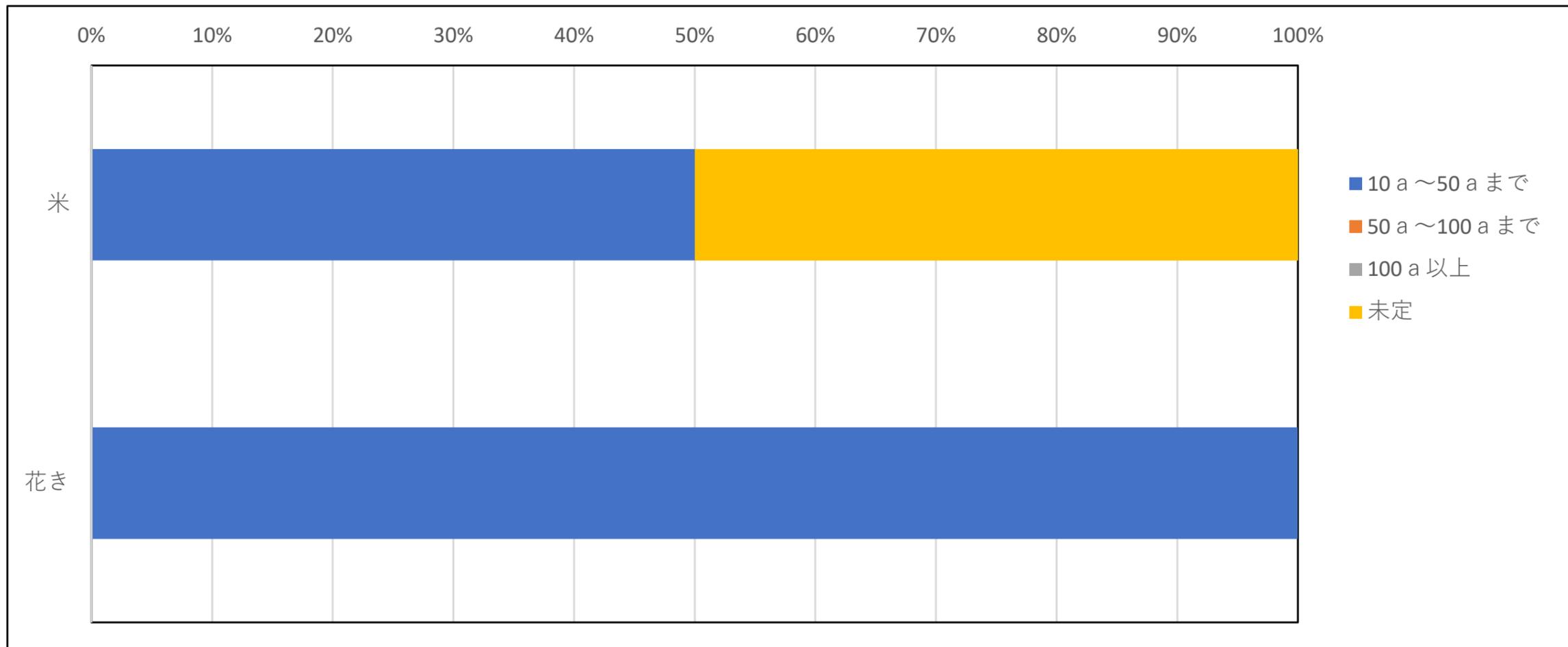
品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米		1			1
					0
					0
					0
					0
					0
計	0	1	0	0	1



問7-① 耕作面積をどの程度拡大する予定ですか。(5年～10年先の見込みで)

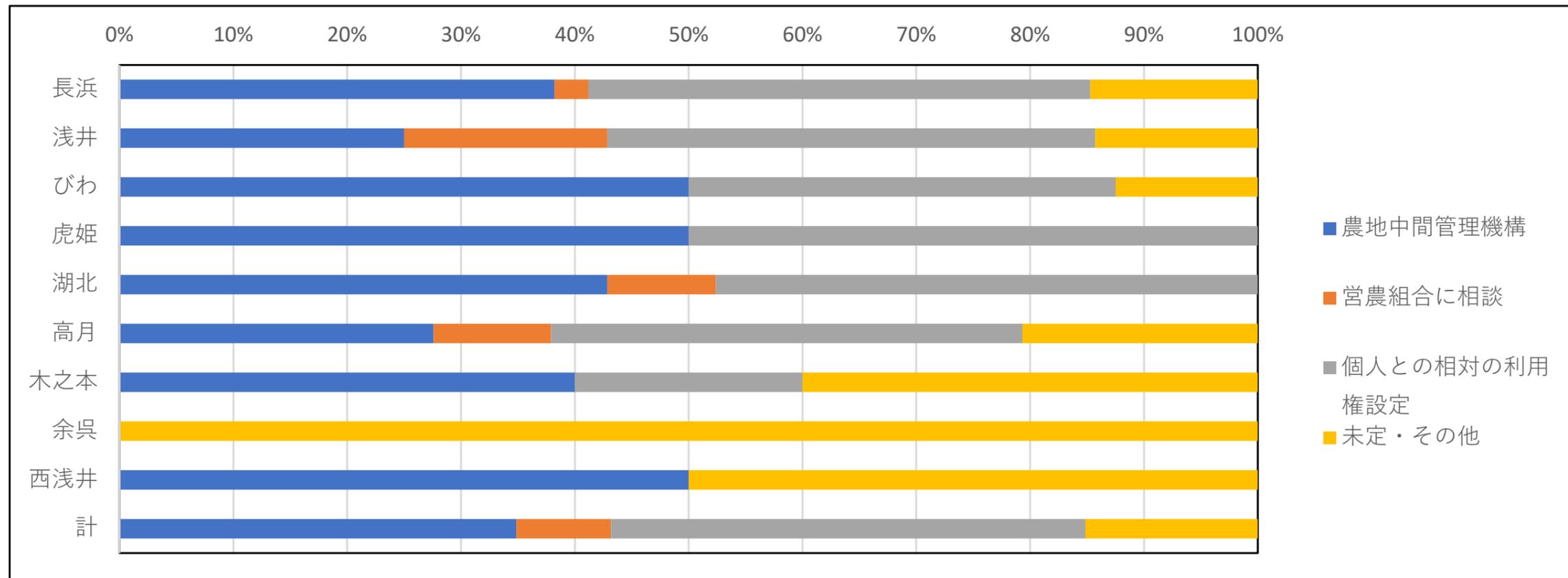
西浅井地区

品名	10a～50aまで	50a～100aまで	100a以上	未定	合計
米	1			1	2
花き	1				1
					0
					0
					0
					0
計	2	0	0	1	2



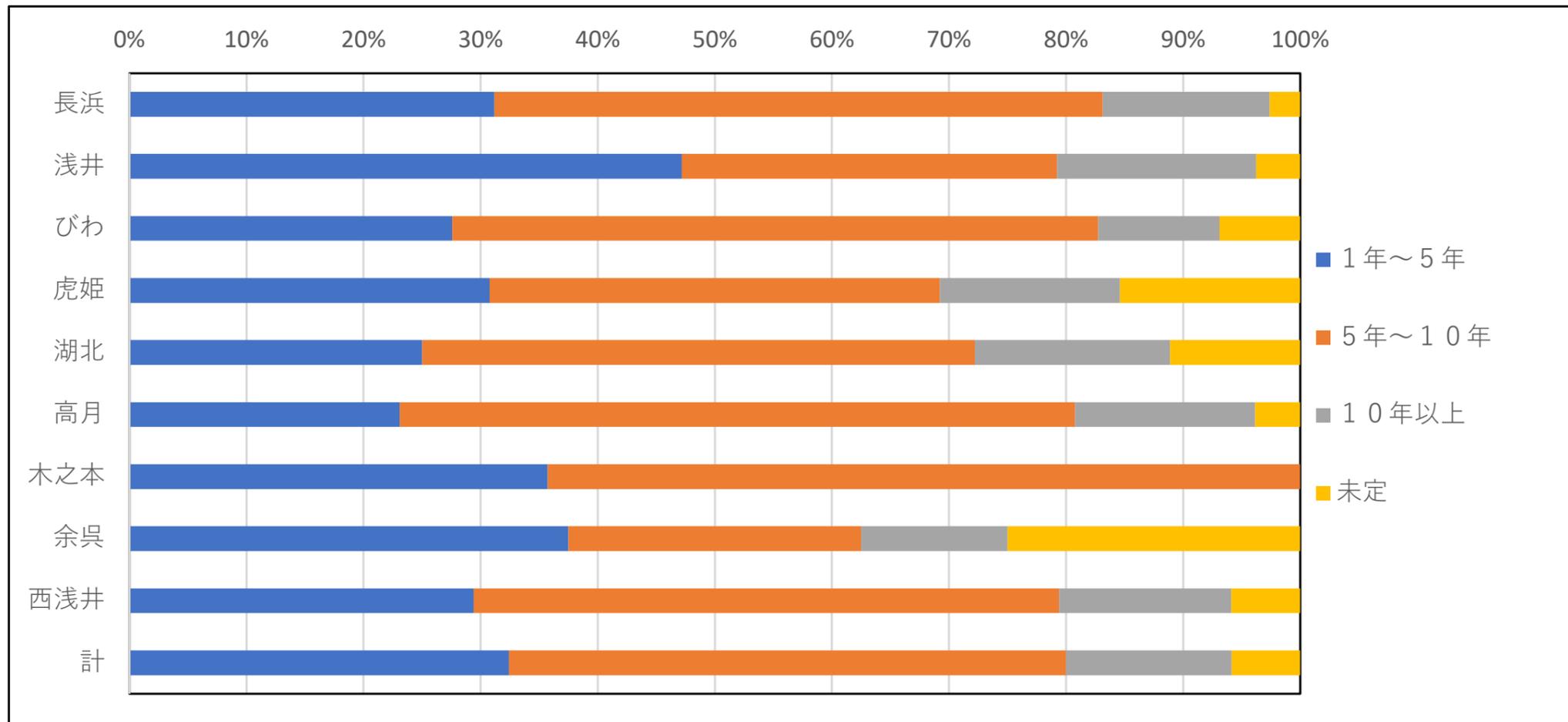
問7-② どのような手法により拡大する予定ですか。該当する番号に3つまで○印をつけてください。

地区名	農地中間管理機構	営農組合に相談	個人との相対の利用権設定	未定・その他	合計
長浜	13	1	15	5	34
浅井	7	5	12	4	28
びわ	4		3	1	8
虎姫	2		2		4
湖北	9	2	10		21
高月	8	3	12	6	29
木之本	2		1	2	5
余呉				1	1
西浅井	1			1	2
計	46	11	55	20	112



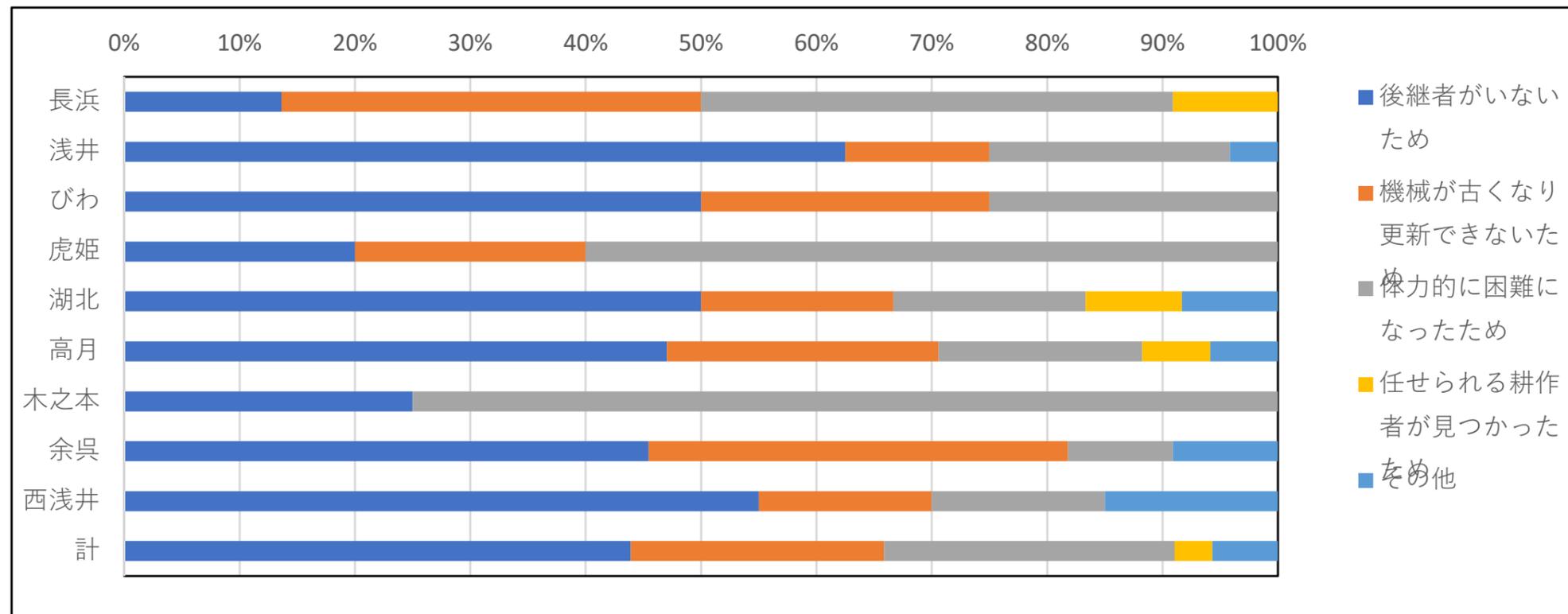
問8 何年程度現状を維持しようと考えていますか。

地区名	1年～5年	5年～10年	10年以上	未定	合計	無回答	全体
長浜	24	40	11	2	77		77
浅井	25	17	9	2	53		53
びわ	8	16	3	2	29		29
虎姫	4	5	2	2	13		13
湖北	9	17	6	4	36		36
高月	6	15	4	1	26		26
木之本	5	9			14		14
余呉	3	2	1	2	8		8
西浅井	10	17	5	2	34		34
計	94	138	41	17	273	0	273



問9-① 規模縮小、廃業を考える大きな理由を記入してください。

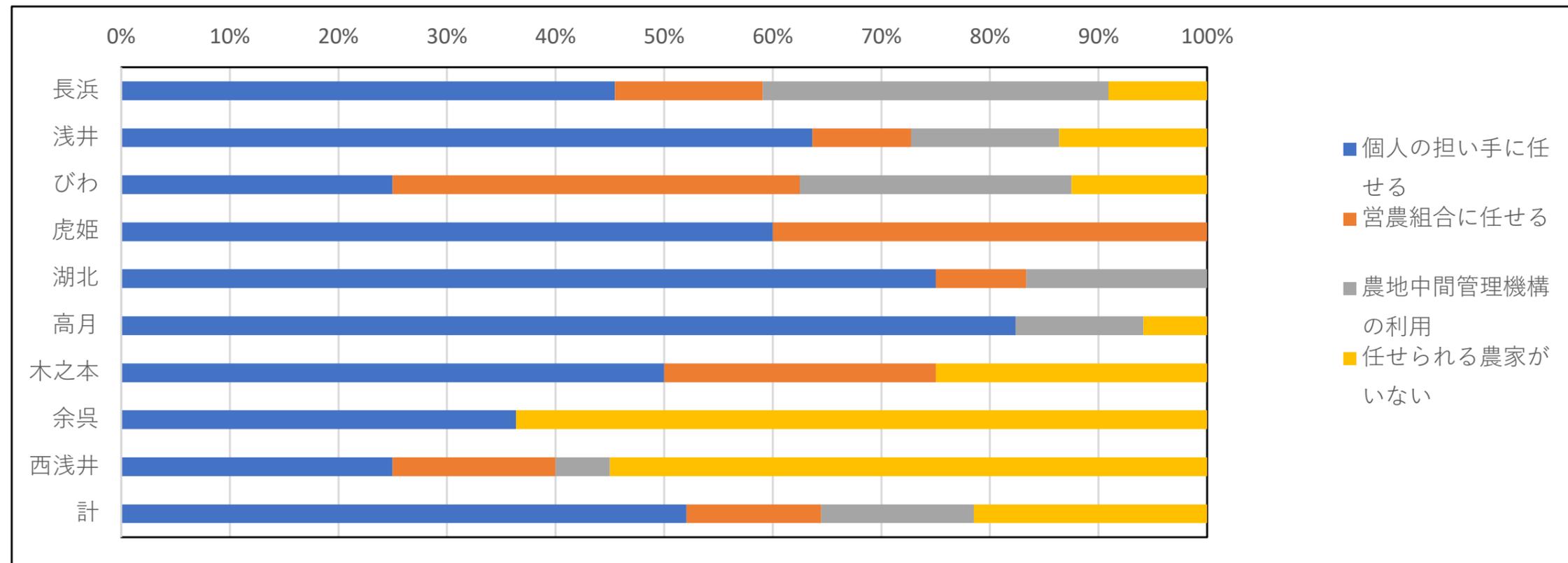
地区名	後継者がいないため	機械が古くなり更新できないため	体力的に困難になったため	任せられる耕作者が見つかったため	その他	合計	無回答	全体
長浜	3	8	9	2		22	0	22
浅井	15	3	5		1	24	0	24
びわ	4	2	2			8	0	8
虎姫	1	1	3			5	0	5
湖北	6	2	2	1	1	12	1	13
高月	8	4	3	1	1	17	0	17
木之本	1		3			4	0	4
余呉	5	4	1		1	11	2	13
西浅井	11	3	3		3	20	0	20
計	54	27	31	4	7	123	3	126



その他意見
従業員不足。

問9-② 規模縮小、廃業する場合農地をどうしますか。

地区名	個人の担い手に任せる	営農組合に任せる	農地中間管理機構の利用	任せられる農家がない	合計	無回答	全体
長浜	10	3	7	2	22		22
浅井	14	2	3	3	22	2	24
びわ	2	3	2	1	8		8
虎姫	3	2	0	0	5		5
湖北	9	1	2		12		12
高月	14		2	1	17		17
木之本	2	1		1	4		4
余呉	4			7	11		11
西浅井	5	3	1	11	20		20
計	63	15	17	26	121	2	123



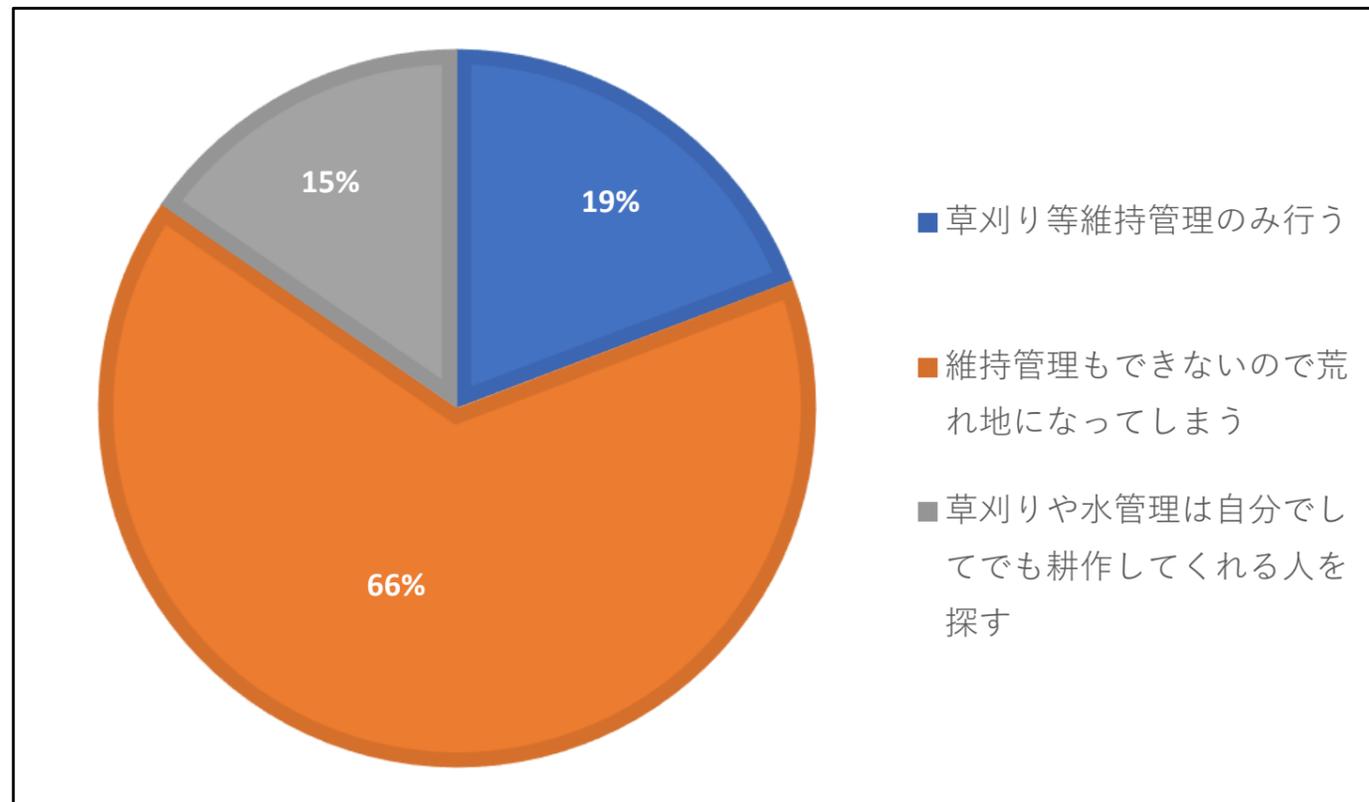
問9-③ 問9-②で「任せられる農家がない」と答えた方にお聞きします。今後の農地の維持管理についてどう考えていますか

(人)

地区名	草刈り等維持管理のみ行う	維持管理もできないので荒れ地になってしまう	草刈りや水管理は自分でしてでも耕作してくれる人を探す	合計	無回答	全体
計	5	17	4	26	0	26

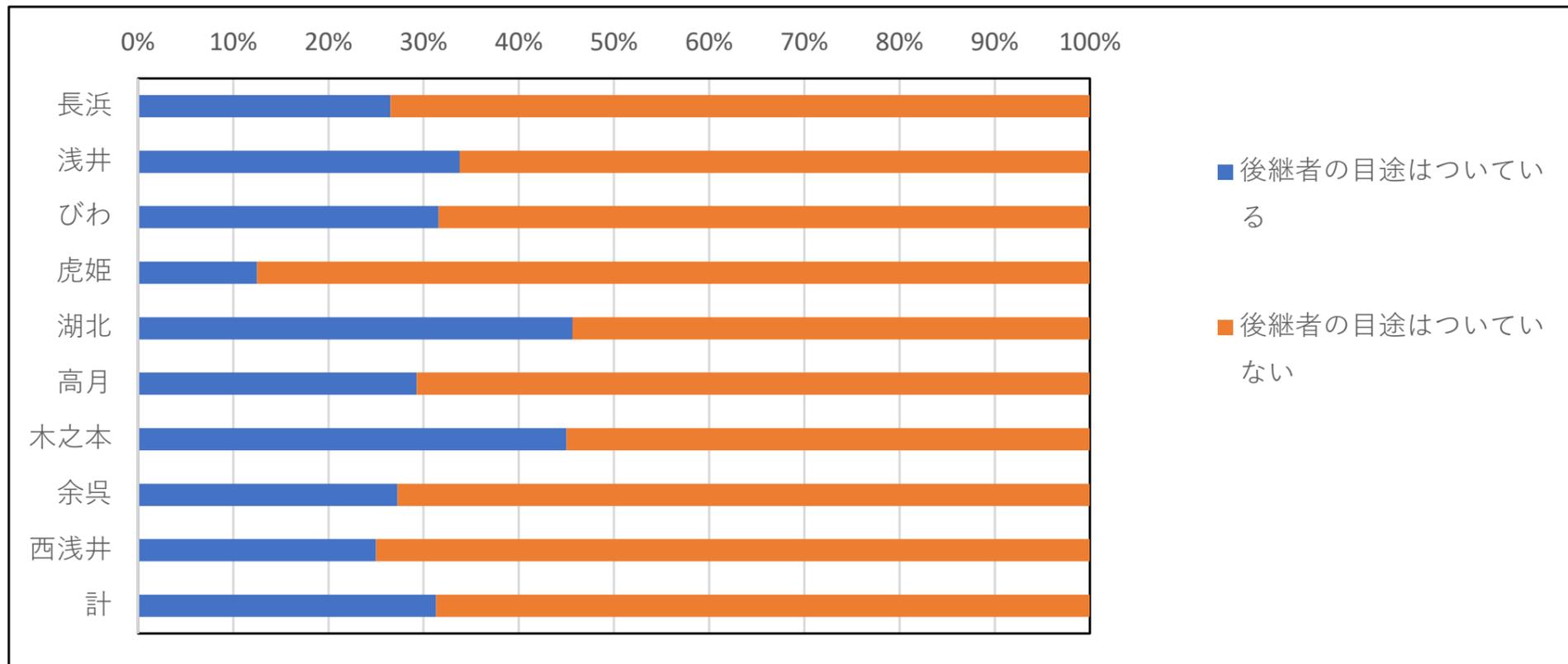
(%)

地区名	草刈り等維持管理のみ行う	維持管理もできないので荒れ地になってしまう	草刈りや水管理は自分でしてでも耕作してくれる人を探す	合計	無回答	全体
計	19.2%	65.4%	15.4%	100%	0	1



問10 後継者の目途はついていきますか。

地区名	後継者の目途はついている	後継者の目途はついていない	合計	無回答	全体
長浜	26	72	98		98
浅井	24	47	71		71
びわ	12	26	38		38
虎姫	2	14	16		16
湖北	21	25	46		46
高月	12	29	41		41
木之本	9	11	20		20
余呉	3	8	11		11
西浅井	9	27	36		36
計	118	259	377	0	377

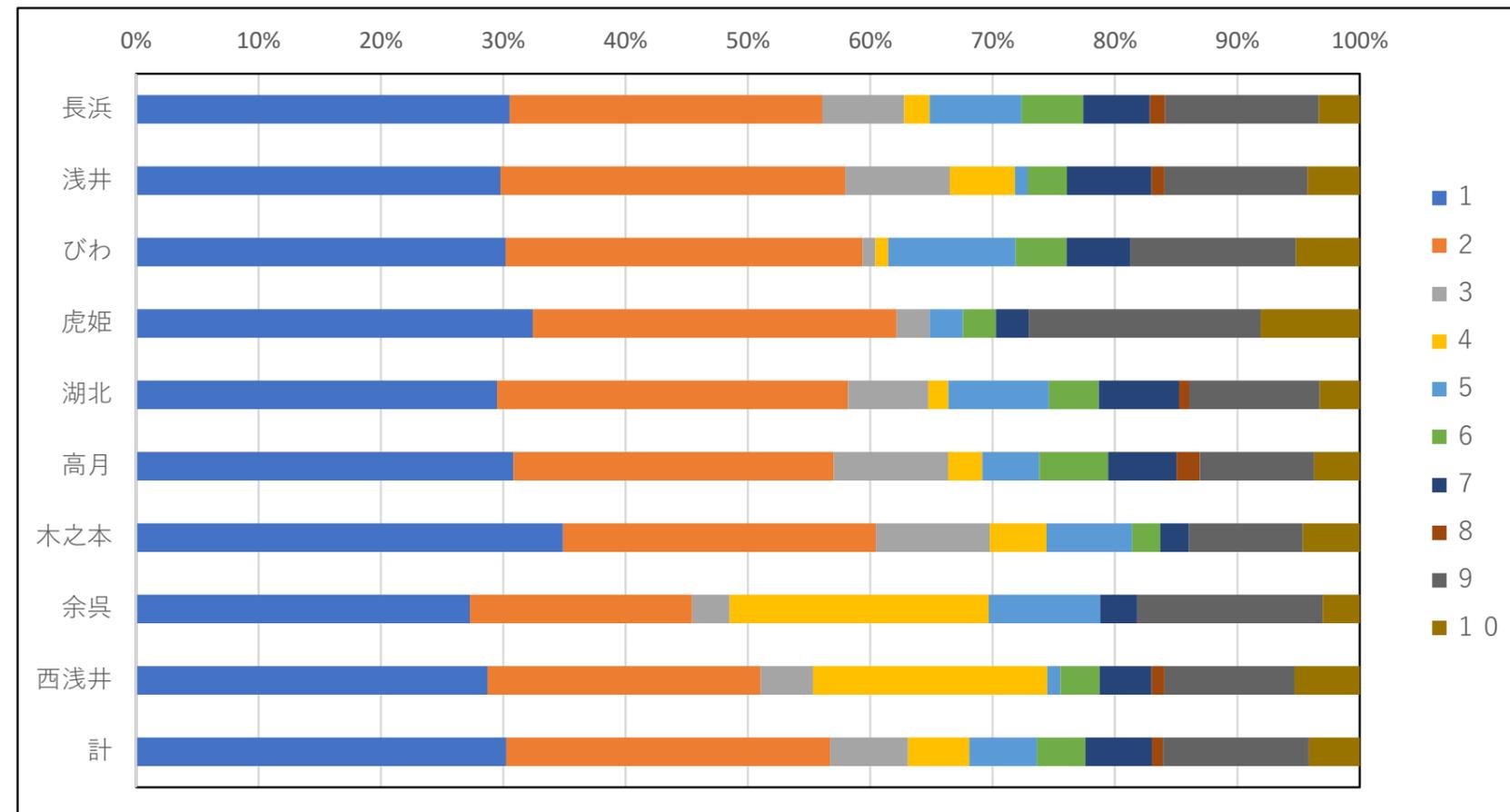


問11 農業経営を継続するため必要なことは何ですか。該当する番号に3つまで○印をつけてください

1	米価の安定(米価補てん、ならし対策の充実を含む)	6	農作物の付加価値を高める技術指導及び情報の入手
2	農業機械更新への助成	7	経営面を含めた担い手育成・支援の充実
3	農産物のブランド化と販売戦略	8	SNS等を利用した情報発信
4	鳥獣害対策の強化等による安心して耕作できる環境づくり	9	農業労働力の確保
5	農地集積化の促進(耕作者同士での耕作地交換)	10	その他

地区名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長浜	73	61	16	5	18	12	13	3	30	8	239
浅井	56	53	16	10	2	6	13	2	22	8	188
びわ	29	28	1	1	10	4	5		13	5	96
虎姫	12	11	1		1	1	1		7	3	37
湖北	36	35	8	2	10	5	8	1	13	4	122
高月	33	28	10	3	5	6	6	2	10	4	107
木之本	15	11	4	2	3	1	1		4	2	43
余呉	9	6	1	7	3		1		5	1	33
西浅井	27	21	4	18	1	3	4	1	10	5	94
計	290	254	61	48	53	38	52	9	114	40	959

10 その他(ご意見)
自分の土地のみ作業している人への支援。 (自給率向上のため)
資材費の価格ダウン。
建屋必要で高費用で最大規模。
農業倉庫建設への補助金制度の復活。
他産業と比較した時の魅力。
新規就農したい方を紹介する専任窓口の設置
養鶏という特定の目的を持った農家なので、後継者が帰ってくるまで賃貸することは不可能です。賃貸契約も契約期間に制約されたり、返却時の正当理由が認められるかもわからない。
年齢的に継続は無理。受皿をつくってほしい。
安定した販売先の確保、地産地消。
米価が上がらないと全て無理。国、県、市で米の買入。
生産資材(肥料など)の高騰対策
経営面積の確保
家族経営の為、長期経営不可能。
畦畔の管理、草刈を減らす等。
集落営農組合への補助。
省力化。
肥料等、資材の安定配給



問12 10年後、あなたの集落の農地は耕作し続けられていると思いますか。

地区名	現状のまま守れる	何らかの施策があれば可能	後継者がおらず困難	地域に担い手がおらず困難	その他	合計	無回答	全体
長浜	28	35	24	14	9	110	10	120
浅井	16	26	23	13	17	95		95
びわ	12	13	5	5	3	38	9	47
虎姫	4	7	3	3	1	18	3	21
湖北	23	14	8	5	8	58		58
高月	20	15	8	5	11	59		59
木之本	7	9		3	4	23		23
余呉		6	9	4	4	23		23
西浅井	4	23	10	14	5	56		56
計	114	148	90	66	62	480	22	502

その他(ご意見)

アグリサポートの様に、地元での耕作地が増えていき遠い集落からは撤退していくので、農地を守れない所が出て来る。

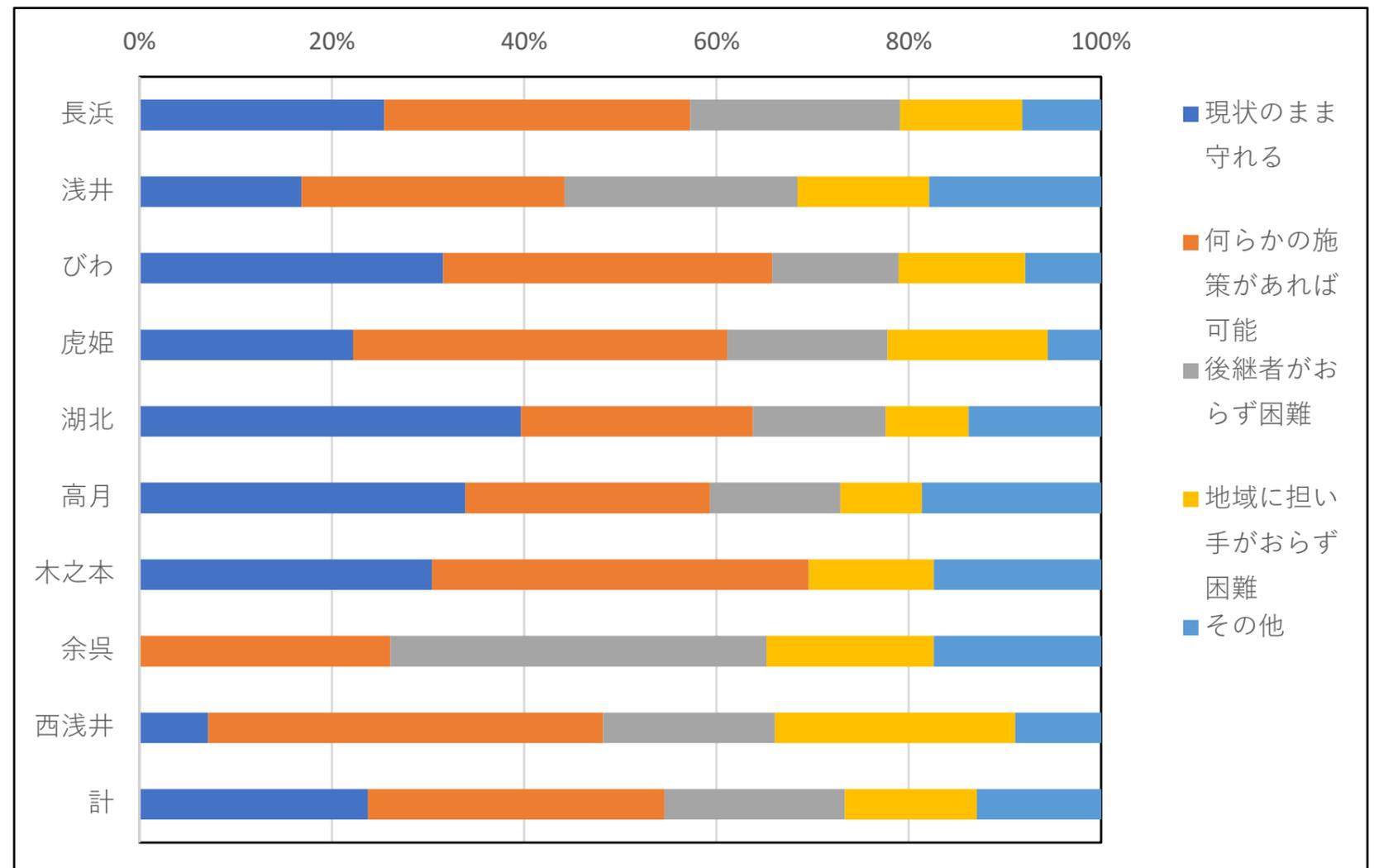
就農者を増やす施策が大事。

現在、50歳から60歳が健康なら続けられる。しかし、米価が下がらないのが条件。

他町の大規模農家が耕作を希望している。

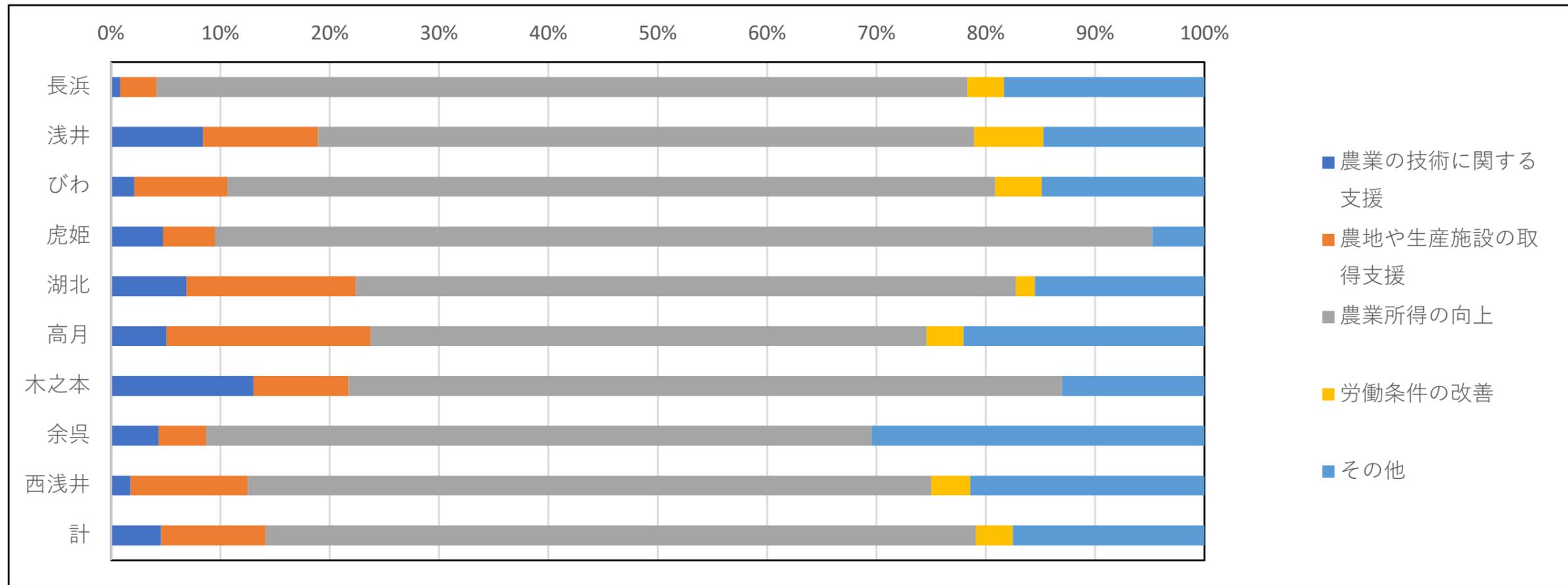
集落外も含めた担い手の確保

農業の魅力を発信し、家庭農園へ。



問13 10年後の農地を守るために、新規就農者や後継者の確保にあたり必要な支援は何だと思えますか。

地区名	農業の技術に関する支援	農地や生産施設の取得支援	農業所得の向上	労働条件の改善	その他	合計
長浜	1	4	89	4	22	120
浅井	8	10	57	6	14	95
びわ	1	4	33	2	7	47
虎姫	1	1	18		1	21
湖北	4	9	35	1	9	58
高月	3	11	30	2	13	59
木之本	3	2	15		3	23
余呉	1	1	14		7	23
西浅井	1	6	35	2	12	56
計	23	48	326	17	88	502



その他 ご意見

就農に対する積極的な窓口の設置と農村地域の活性化の具体策。

農業をする環境の整備。お金の支援じゃなく農業をする環境の支援。

定年後の何もしていない人の再農。

受皿を充実してほしい。

働き方改革といわれているが、農業は自然、天候に左右されるので、他の産業と比較できない覚悟しての心構えが必要。

自治会に居住する若者が少なくなり、農業者の高齢化により作業依存はきつい。

補助金がほしい。米価を上げてほしい。

機械がないとできない。

圃場条件の改善。獣害対策。集落内の人員での対応では困難。

農村の環境改善(住みやすい農村づくり)

農地以外の設備・用水・排水・土手など管理更新をどうしていくか？人・資金など確保必要。

販売先の確保。(地域の付加価値を高めて高く売る。)

米価のアップ。

やる気、競争心のある人の参入。甘い指導では革新はなされない。